

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

＜第48週＞感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている／その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

＜インフルエンザ＞

第48週の定点当たり報告数は0.83となり、前週の報告数を大きく上回った



病原体情報
P.9-12

インフルエンザウイルス 2008/09シーズン／RSウイルス 2008年／感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09シーズン



速報
P.13-20

アメーバ赤痢 2007年(2008年6月18日現在)



海外感染症情報

＜今週は該当記事はありません＞



感染症の話
P.21

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(48週)
P.22-27



48週のデータ
P.28-40



発生動向総覧

※2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

<第48週コメント> 12月3日集計分

◆全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核231例

3類感染症

細菌性赤痢4例

感染地域: 福岡県1例、国内(都道府県不明)2例、インド1例

腸管出血性大腸菌感染症52例(有症者27例)

感染地域: 国内52例

国内の多い感染地域: 佐賀県18例¹⁾、宮城県7例、東京都7例²⁾、
岐阜県4例、愛知県3例、兵庫県2例、福岡
県2例

集団発生: ¹⁾うち16例が第47週の2例とともに、²⁾うち1例が第42～47
週の44例とともに、保育園での集団発生に関連

年齢群: 1歳(1例)、2歳(5例)、3歳(7例)、4歳(6例)、5歳(1例)、
6歳(2例)、10代(3例)、20代(7例)、30代(8例)、40代
(5例)、50代(3例)、60代(2例)、70代(1例)、80代(1例)

血清型・毒素型: O157 VT2(22例)、O157 VT1・VT2(12例)、
O145 VT2(5例)、O26 VT1(3例)、O91 VT1
(3例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2
(2例)、O111 VT1(1例)、O128 VT1(1例)、
O146 VT2(1例)

累積報告数: 4,185例(有症者2,735例、うちHUS 87例、死亡8例)

感染地域: 国内(都道府県不明)

腸チフス1例

4類感染症

A型肝炎1例

感染地域: 東京都

つつが虫病36例

感染地域: 鹿児島県11例、福島県4例、千葉県3例、岐阜県3例、
宮崎県3例、山形県2例、群馬県2例、神奈川県2例、高
知県2例、宮城県1例、茨城県1例、和歌山県1例、大分
県1例

日本紅斑熱2例

感染地域: 熊本県2例

マラリア1例

三日熱__感染地域: パプアニューギニア

レジオネラ症5例(肺炎型5例)

感染地域: 富山県1例、愛知県1例、京都府1例、和歌山県1例、福
岡県1例

年齢群: 30代(1例)、40代(1例)、60代(2例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢7例(腸管アメーバ症4例、腸管外アメーバ症3例)

感染地域: 千葉県2例、群馬県1例、京都府1例、国内(都道府県不明)1例、タイ1例、インドネシア1例

感染経路: 経口感染2例、性的接触1例(異性間)、不明4例

ウイルス性肝炎2例

B型1例__感染経路: 性的接触(異性間)

EBウイルス1例__感染経路: 不明

後天性免疫不全症候群10例(AIDS 4例、無症候6例)

感染地域: 国内8例、タイ1例、インドネシア1例

感染経路: 性的接触9例(異性間4例、同性間5例)、不明1例

ジアルジア症1例

感染地域: 福島県

梅毒5例(早期顕症I期2例、早期顕症II期1例、無症候2例)

麻しん10例〔麻しん(検査診断例4例、臨床診断例5例)、修飾麻しん(検査診断例1例)〕

感染地域: 国内10例

国内の感染地域: 千葉県2例、神奈川県2例、大阪府2例、秋田県1例、岐阜県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)1例

年齢群: 0歳(1例)、3歳(1例)、10～14歳(1例)、15～19歳(1例)、25～29歳(2例)、30～34歳(1例)、40代(1例)、50代(1例)、70代(1例)

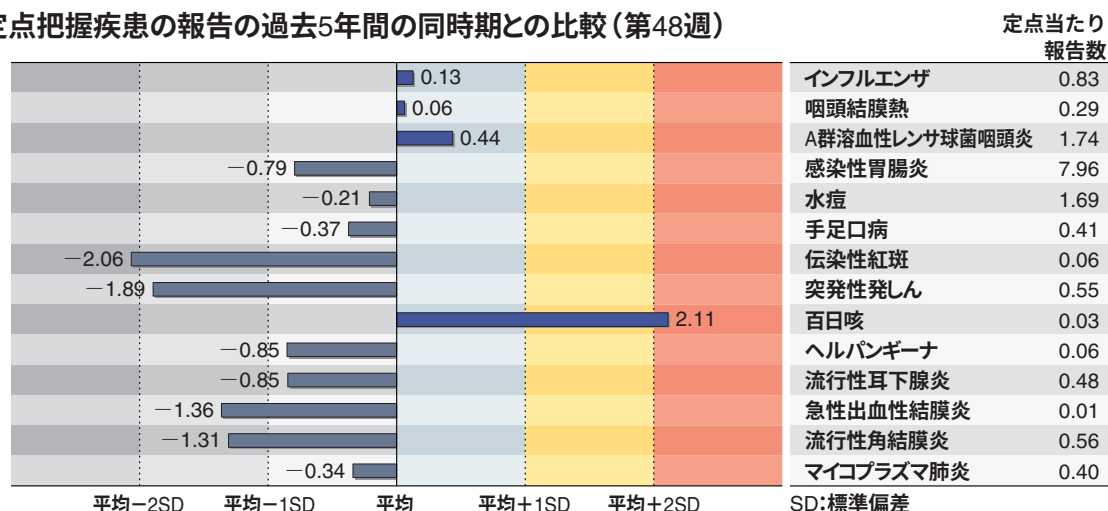
累積報告数: 10,944例〔麻しん(検査診断例3,150例、臨床診断例6,781例)、修飾麻しん(検査診断例1,013例)〕

(補)他に2008年第47週までに診断されたものの報告遅れとして、デング熱1例(感染地域: タイ)、日本紅斑熱5例(感染地域: 熊本県4例、鳥取県1例)、野兔病1例(感染地域: 和歌山県、感染経路: 不明)、レジオネラ症1例(感染地域: 神奈川県、死亡)、レプトスピラ症1例(感染地域: 沖縄県__感染原因: トレッキング)、アメーバ赤痢1例〔腸管アメーバ症、感染地域: 国内(都道府県不明)、感染経路: 不明、死亡〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(80代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症3例(遺伝子型: *VanC* 2例__菌検出検体: 血液1例、胆汁1例、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 尿)、風しん1例〔臨床診断例、感染地域: 国内(都道府県不明)、年齢群: 40代〕などの報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第48週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

インフルエンザ

定点当たり報告数は第41週以降増加が続いている。都道府県別では山梨県(3.6)、島根県(3.4)、兵庫県(2.3)、大阪府(2.1)、福井県(2.1)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は2,781例と報告数は減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第45週以降増加が続いている。都道府県別では北海道(1.25)、新潟県(1.15)、秋田県(0.82)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鳥取県(3.7)、山形県(3.3)、富山県(3.3)、大分県(3.0)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別では大分県(16.5)、福岡県(16.3)、山口県(15.3)、熊本県(14.7)が多い。

水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別では山形県(4.9)、新潟県(3.3)、宮城県(2.9)、岩手県(2.9)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別では栃木県(1.17)、高知県(1.07)、宮城県(0.82)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では宮城県(0.40)、新潟県(0.23)、福島県(0.17)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では福岡県(0.16)、広島県(0.14)、千葉県(0.08)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第37週以降減少が続いている。都道府県別では佐賀県(0.52)、山形県(0.23)、岩手県(0.18)が多い。

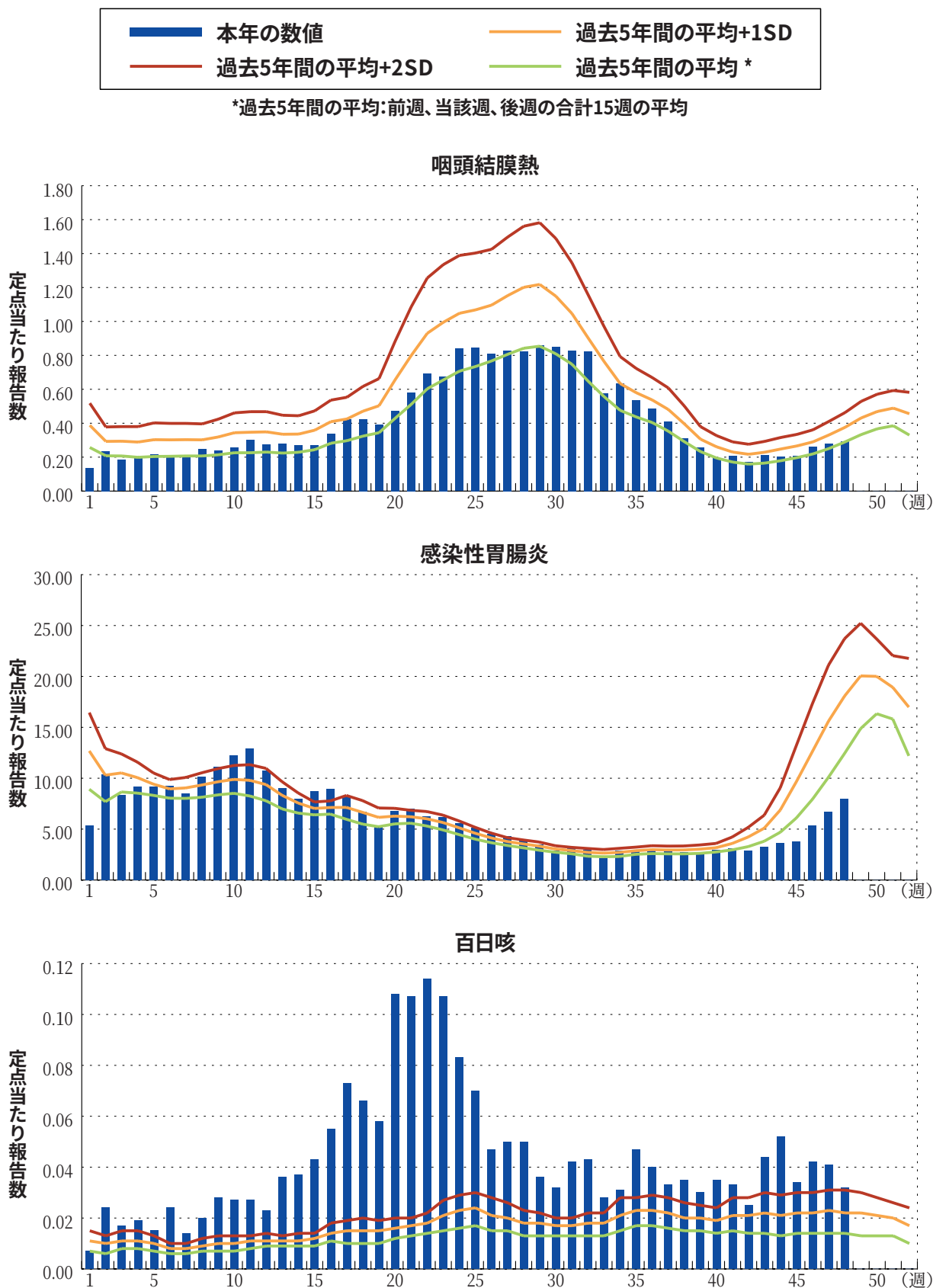
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では福井県(1.86)、佐賀県(1.83)、高知県(1.77)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福島県(3.0)、群馬県(1.4)、滋賀県(1.3)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2008年第1～48週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症である。日本においては、他の北半球の温帯地域の国々と同様に例年冬季を中心に全国的な流行が発生し、多くのシーズンにおいて年間1,000万人以上の発病者がみられている。インフルエンザは、いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強く、また重症化することがあり、加えて様々な合併症を招く可能性がある。

インフルエンザの予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることである。欧米では一般的な方法であり、わが国でも近年はワクチン接種率の上昇が見られてきている。インフルエンザワクチンは、接種によってある程度の発病阻止効果があり、さらに罹患した場合の重症化防止に有効であると報告されている。また、ワクチンを接種してからその効果が現れるまでには通常2週間程度かかるといわれている。例年、インフルエンザの流行は12月下旬以降に始まることが多いが、今シーズンのインフルエンザの流行は例年よりもその立ち上がりが早いこともあり、流行に備えるためには今すぐにでもワクチンの接種を実施しておくべきである。

インフルエンザに罹患している人の咳、くしゃみ、つばなどの飛沫には大量のインフルエンザウイルスが含まれている。その飛沫を鼻腔や気管など気道に吸入することによる飛沫感染がインフルエンザの主な感染経路であり、飛沫等を介する間接的接触による接触感染もあると考えられている。従ってインフルエンザの流行時には、外出時のマスクの利用や帰宅時のうがい、手洗いは、かぜの予防と併せて奨められる。また、インフルエンザの主な感染経路が飛沫感染であることより、咳エチケットとして周囲への感染拡大を防止する意味から、インフルエンザに罹患している人、特に咳嗽などの症状のある人には、マスクの着用が推奨される。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザ定点当たり報告数は2008年第41週以降増加が続いており、第48週は0.83(報告数3,911)となり、前週の報告数(定点当たり報告数0.56、報告数2,632)を大きく上回った(図1)。都道府県別では山梨県(3.6)、島根県(3.4)、兵庫県(2.3)、大阪府(2.1)、福井県(2.1)、栃木県(1.7)、和歌山県(1.7)、沖縄県(1.6)の順であり、関東、中部、近畿、中国の各地域において全国平均を上回っている府県が増加してきている(図2、図3)。2008年

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1998～2008年第48週)

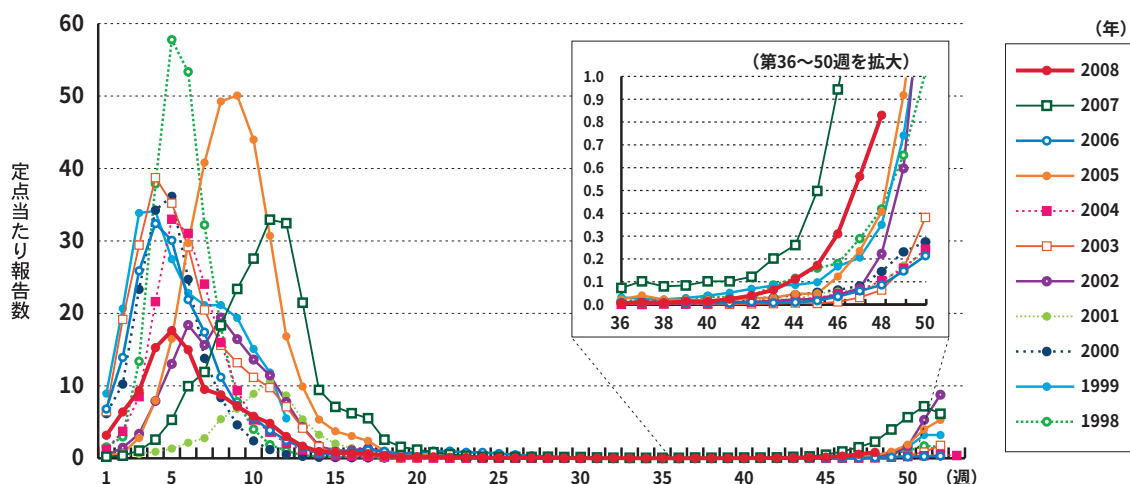


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況(2008年第48週)

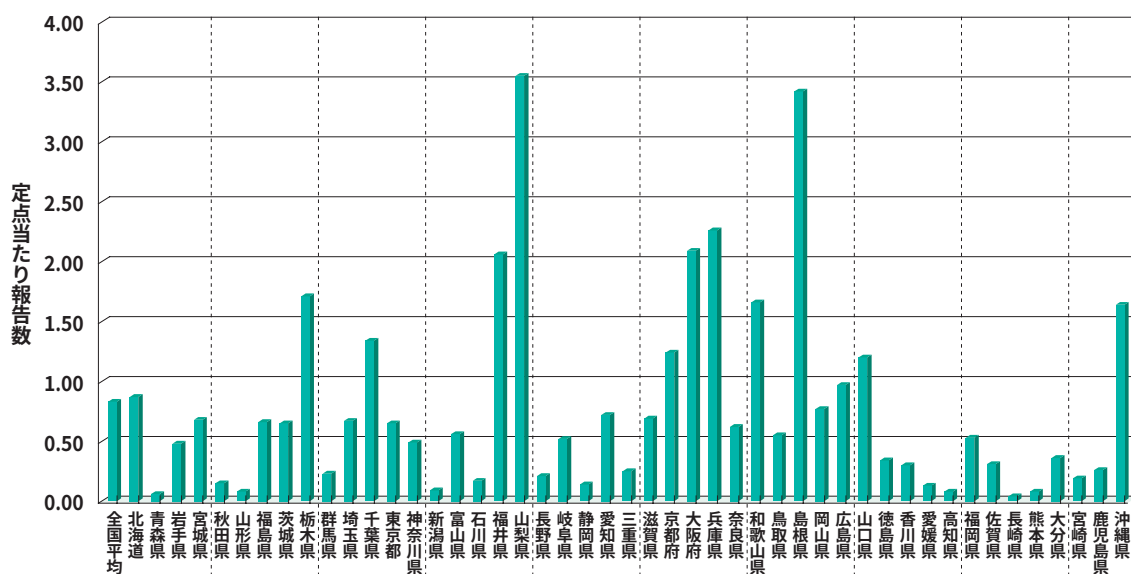
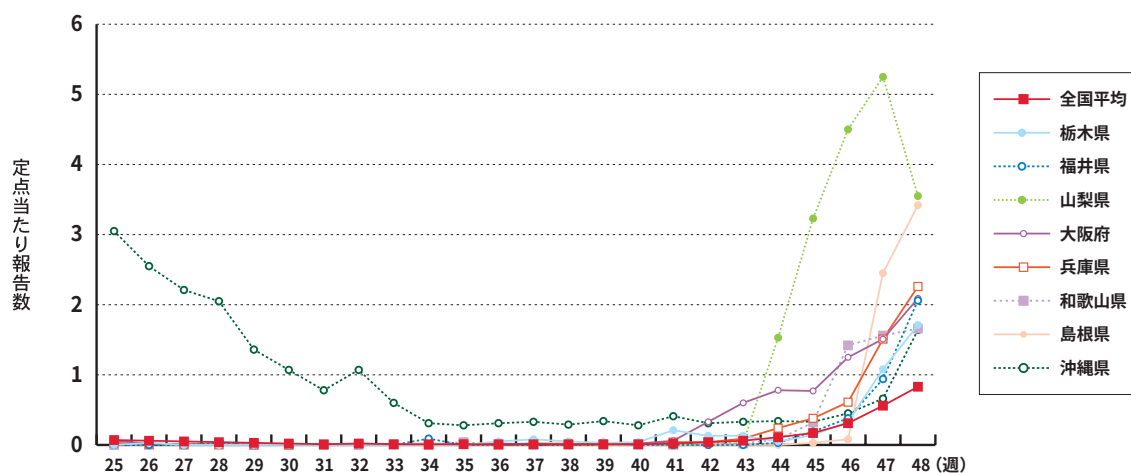


図3. 主要都道府県におけるインフルエンザの週別推移(2008年第25～48週)



第36週から第48週までの定点当たり累積報告数は2.19(累積報告数10,277)であり、年齢別では5～9歳3,273例(31.8%)、0～4歳2,628例(25.6%)、10～14歳1,473例(14.3%)、30～39歳888例(8.6%)、20～29歳648例(6.3%)の順となっている(図4)。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離報告数は21都道府県から125件あり、その内訳はAH1亜型27件(21.6%)、AH3亜型60件(48.0%)、B型38件(30.4%)となっているが(図5)、今後どの亜型が流行の主流となっていくかは現時点では不明である。

図4. 2008/09シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合(2008年第36～48週)

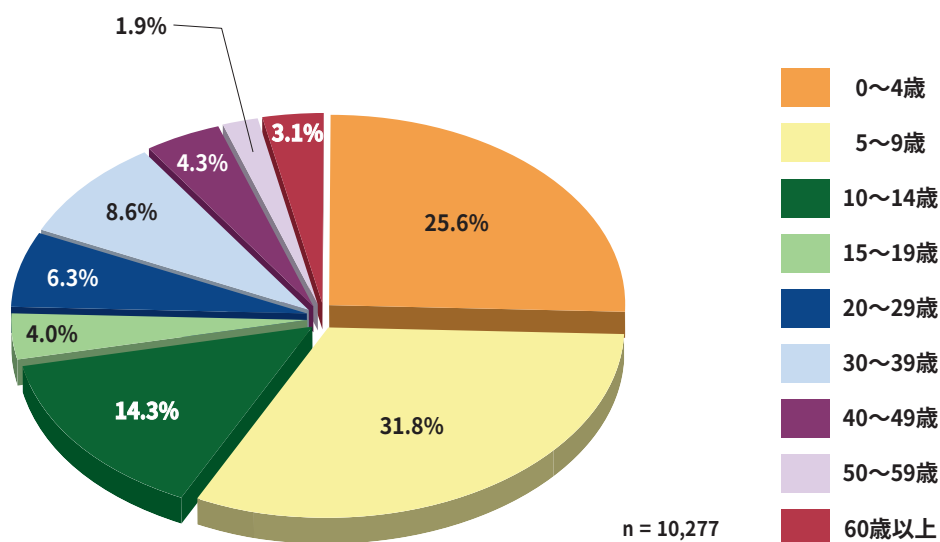
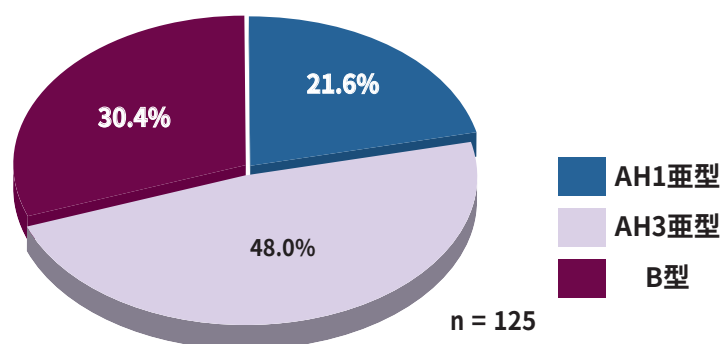


図5. インフルエンザウイルス型別分離・検出割合報告(2008年第36～48週)
(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



第48週のインフルエンザの定点当たり報告数は0.83であり、1998/99シーズン以降の過去10シーズンと比較しても1987年のインフルエンザの発生動向調査開始以来最も流行の開始が早かった昨シーズン(2007/08シーズン、第48週定点当たり報告数2.29)に次いで多い。インフルエンザの流行地域も関東以西の本州地域を中心に拡大してきており、次週(第49週)にはインフルエンザ定点当たり報告数の全国平均値が、全国的な流行の開始の指標である1.0を超える可能性が高い。インフルエンザの発生動向にはより注意深い観察が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2008年12月4日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2008/09シーズン

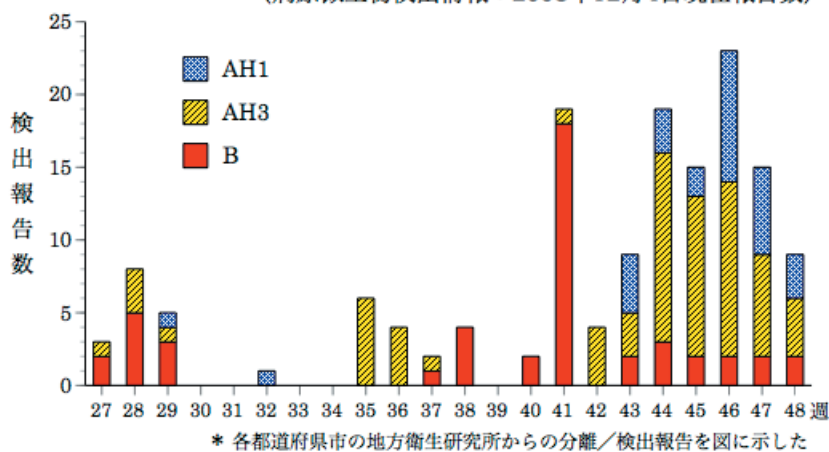
2008年第48週までにAH1亜型が11道府県から27件、AH3亜型が12府県から60件、B型が7都府県から38件の分離・検出が報告されている。

直近の4週間(第45～48週)にはAH1亜型が北海道、広島県各6件、滋賀県2件、千葉県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、奈良県各1件、計20件(うち1件は中国渡航後)、AH3亜型が大阪府13件、島根県7件、神奈川県5件、愛知県3件、山形県、徳島県各2件、長野県、静岡県各1件、計34件、B型が大阪府、兵庫県、奈良県各2件、秋田県、神奈川県各1件、計8件(ビクトリア系統5件、山形系統1件、PCR 2件)の分離・検出が報告されている。

シーズン当初より集団発生からの分離・検出が相次いでおり、第45週以降では、AH1亜型: 第46週滋賀県の小学校、AH3亜型: 第45週徳島県の小学校、第46週神奈川県の小学校、第48週愛知県の小学校、B型: 第47週奈良県の小学校の事例が報告されている。

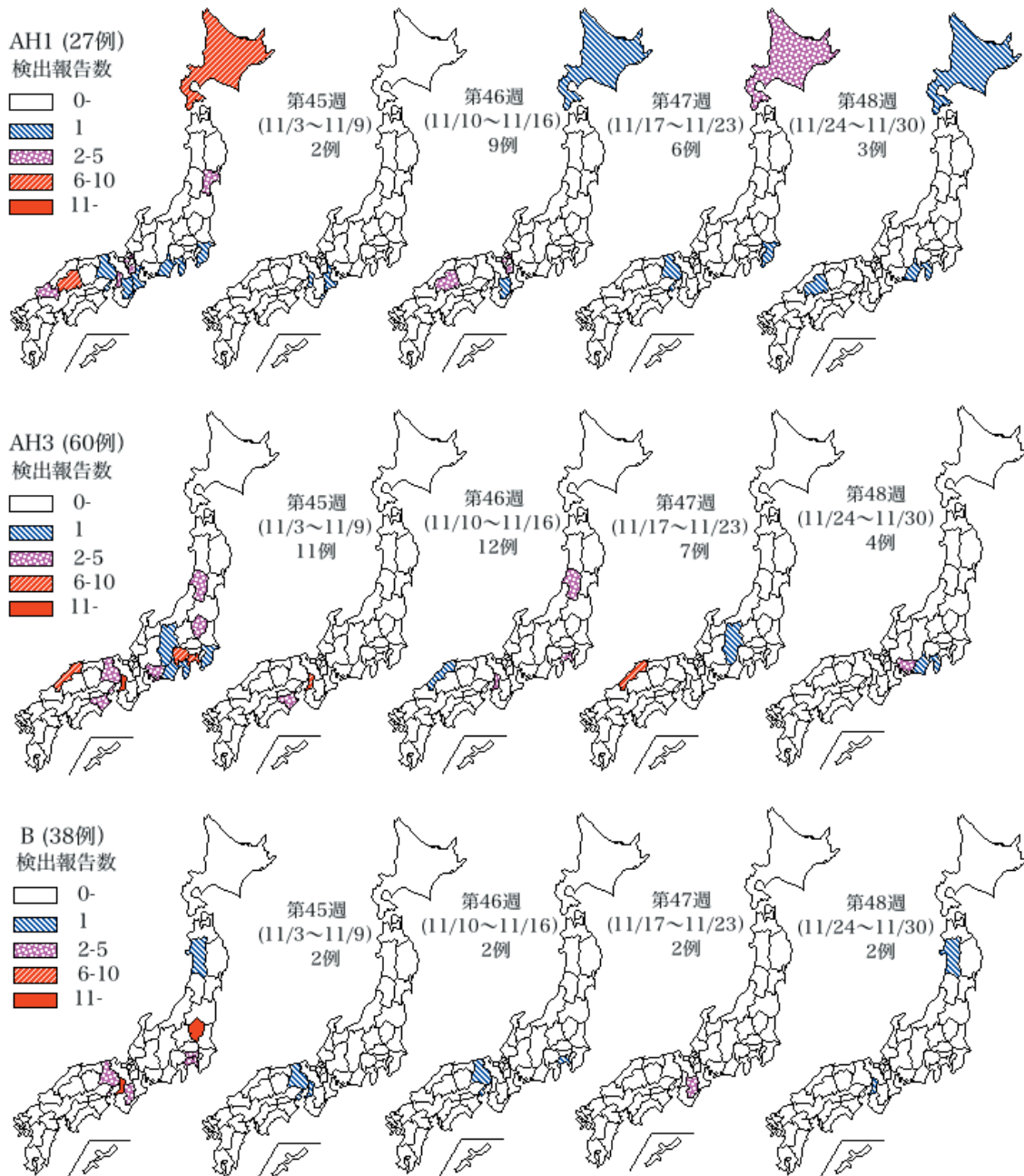
インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2008年第27週～48週
(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



IASR
Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2008/09シーズン
(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



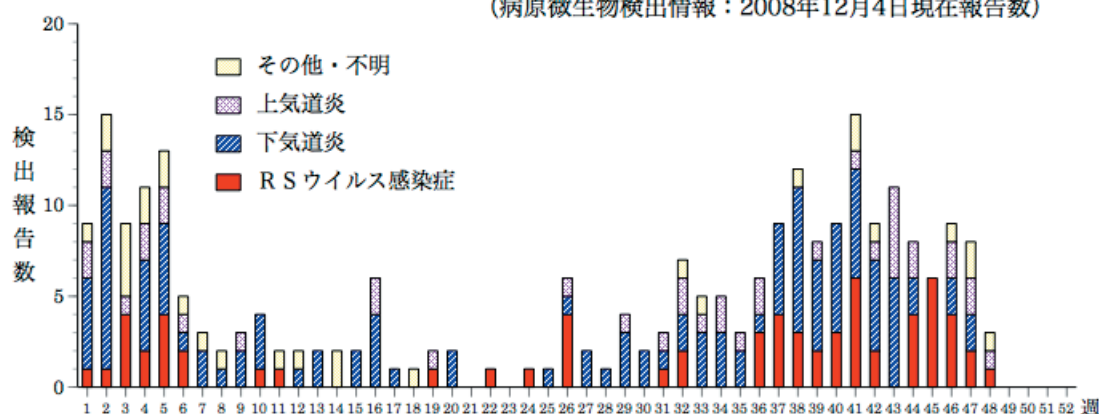
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

◆Respiratory syncytial(RS)ウイルス 2008年

RSウイルスは秋～冬に流行がみられるが、2008年は前年より早く第29週以降分離・検出報告数が増加している。2008年第48週までに大阪府75件、千葉県33件、徳島県28件、山形県26件、愛媛県16件、東京都15件、神奈川県14件、秋田県13件など19都府県から249件が報告されている。検出例の診断名はRSウイルス感染症65件、下気道炎115件、上気道炎40件、不明熱・熱性けいれん10件、インフルエンザ・インフルエンザ様疾患6件、咽頭結膜熱3件、感染性胃腸炎2件、急性脳炎1件、その他・不明7件が報告されている。

週別Respiratory syncytial virus分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



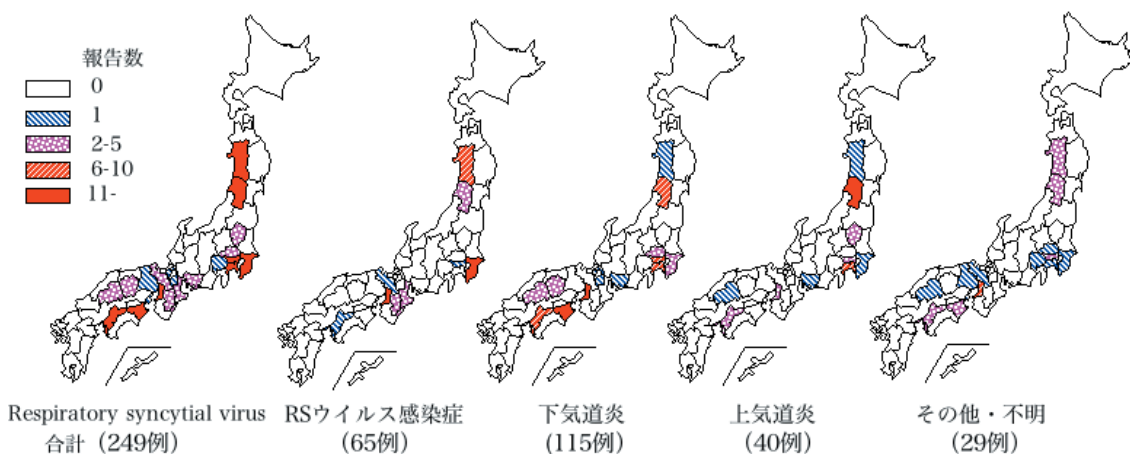
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Respiratory syncytial virus分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆感染性胃腸炎関連ウイルス 2008/09シーズン

第49週までにノロウイルスgenogroup(G)I 1件、GII 54件、サポウイルス20件、A群ロタウイルス3件の検出が報告されている。

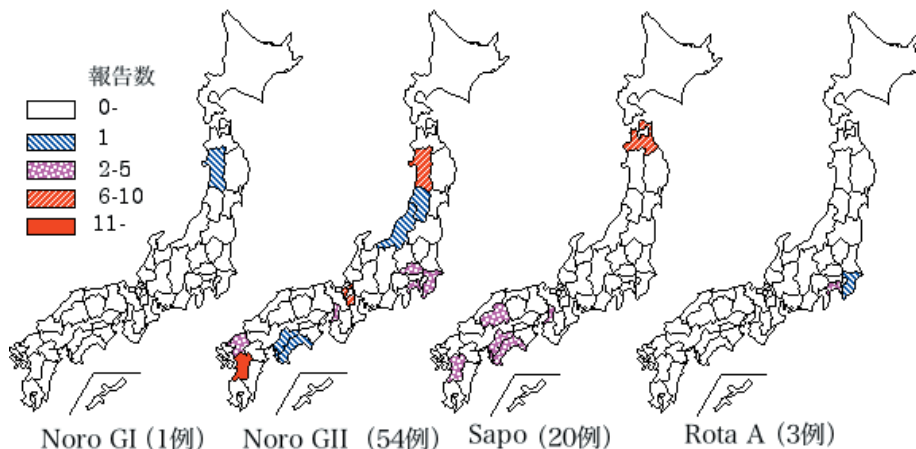
ノロウイルス:GI/NT 秋田県1件、GII/NT 熊本県16件、秋田県8件、神奈川県、大阪府各5件、滋賀県3件、埼玉県2件、山形県、愛媛県、高知県各1件、GII/2 千葉県1件、GII/3 千葉県1件、GII/4 福岡県2件、GII/6 滋賀県7件(集団発生)、新潟県1件。

サポウイルス:青森県8件、大阪府4件(うち3件は保育所集団発生)、広島県、愛媛県、高知県、熊本県各2件。

A群ロタウイルス:神奈川県2件、千葉県1件。

この他にアストロウイルスの検出が神奈川県2件、熊本県1件報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、
2008/09シーズン (病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



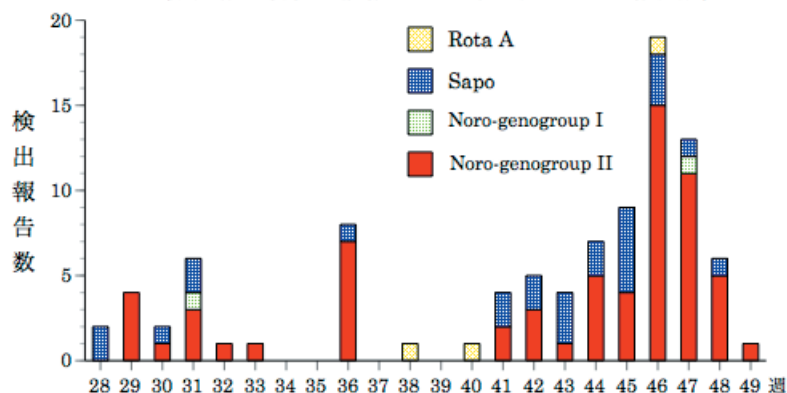
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、
2008年第28週～49週

(病原微生物検出情報: 2008年12月4日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

◆アメーバ赤痢 2007年 (2008年6月18日現在)

わが国におけるアメーバ赤痢の発生動向は、感染症法(1999年4月施行)のもとで、診断した全ての医師に届出が義務付けられ、把握されている。かつて伝染病予防法のもとで法定伝染病の「赤痢」に含まれて届け出られていた当時は、症状のない無症状病原体保有者(シスト排泄者)も届出対象とされていたが、現在は、無症状病原体保有者は届出対象ではない。

近年アメーバ赤痢の報告数は増加しており、2007年も引き続き増加した。また、2006年4月の届出様式の変更により、病型(腸管アメーバ症、腸管外アメーバ症)が追加され、症状及び診断方法が選択式となり、情報は以前より確実になった。そこで、アメーバ赤痢の2007年の発生状況について記述する。

なお、感染症法施行以降2006年までの発生状況については、感染症週報(IDWR)第9巻第44号速報アメーバ赤痢1999年4月～2006年(<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2007/idwr2007-44.pdf>)、病原微生物検出情報(IASR)特集アメーバ赤痢1999年4月～2002年12月 及び 2003～2006(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/24/278/tpc278-j.html> 及び <http://idsc.nih.go.jp/iasr/28/326/tpc326-j.html>)に掲載している。

報告の概況

2007年の報告数は801例であり、2000～2007年の年間報告数は毎年10%前後(8～17%)の増加がみられている(図1)。推定あるいは確定として報告された感染地域は、国内が81%、国外が18%、不明が1%であった(図1)。都道府県別では、東京都、大阪府、神奈川県、愛知県、兵庫県の順に多く、また、人口10万対報告数では、東京都(1.30)、宮城県(1.15)、滋賀県(1.07)、大阪府(1.02)、神奈川県(0.91)、京都府(0.91)の順に多く、大都市を抱える都道府県に多かった(図2)。

発病月の記載があった585例についてみると、国内感染例、国外感染例ともにばらつきはあるが年間を通して発症しており、明らかな季節性は認められなかった(図3)。

図1. アメーバ赤痢報告数の感染地域別・年別報告数(1999年4月～2007年)

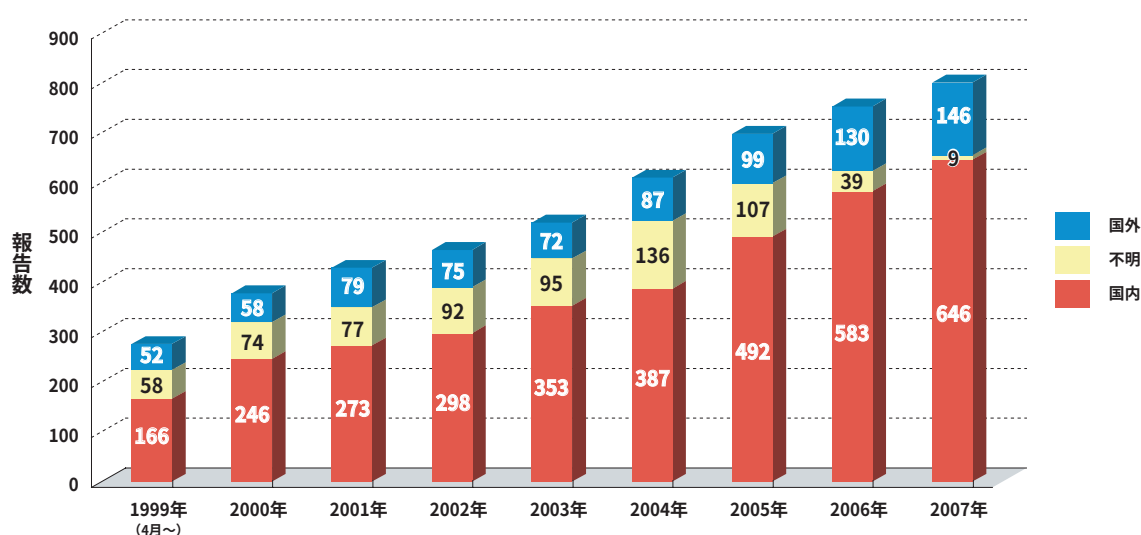


図2. アメーバ赤痢の都道府県別報告数と人口10万対報告数 2007年

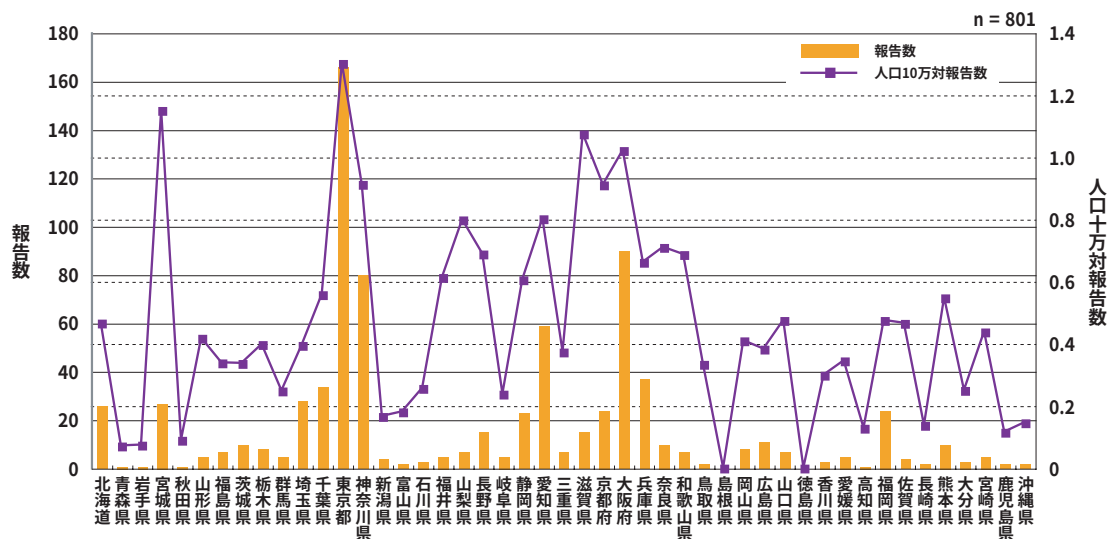
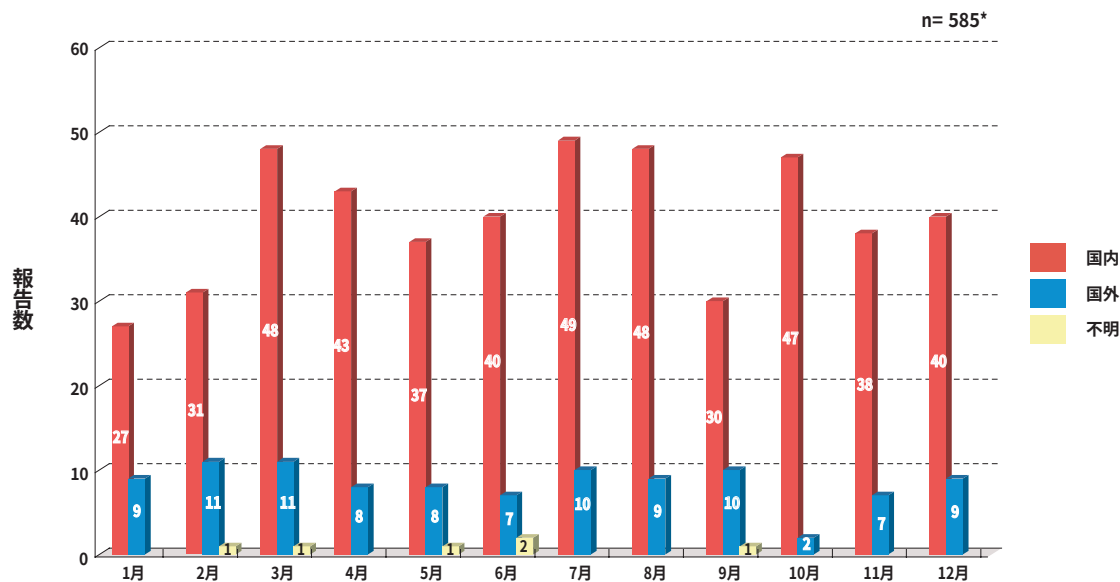


図3. アメーバ赤痢の感染地域別・発症月別報告数 2007年



*発症月の記載があったもの。(診断年は2007年だが発病年が2007年以前のものを含み計上)

病型別では、腸管アメーバ症77%(616例)、腸管外アメーバ症17%(135例)、腸管及び腸管外アメーバ症6%(50例)であった。

死亡の報告は5例あった。全て男性で、腸管アメーバ症3例(50代2例、70代1例)、腸管外アメーバ症1例(30代)、腸管及び腸管外アメーバ症1例(70代)であった。感染症法の届出は原則として診断時のみであるため、届出時点以降の死亡例が十分反映されていない可能性があり、届け出た医師には届出後の死亡についての追加報告をお願いしたい。

任意に記載された情報の範囲であるが、他の病原体の重複感染として、HIV及びジアルジア1例、HIV3例、クラミジア1例、また、基礎疾患として大腸がん1例が報告された。本疾患の感染状況を把握する上で重要な情報であるので、届け出る医師には重複感染や基礎疾患についての積極的な報告をお願いしたい。

性・年齢

801例の性別では男性(686例)/女性(115例)=6.0/1.0で男性に多い。年齢の中央値は45歳(4～93歳)、男性のみでは47歳(4～93歳)、女性のみでは34歳(10～89歳)であり、男性の罹患年齢がやや高かった。

感染地域別にみると、国内感染例での男女比は男性(557例)/女性(89例)=6.3/1.0で、年齢の中央値は45歳(13～93歳)、男性のみでは46歳(13～93歳)、女性のみでは36歳(14～89歳)であった。国外感染例での男女比は男性(120例)/女性(26例)=4.6/1.0で、年齢の中央値は46.5歳(4～77歳)、男性のみでは50歳(4～77歳)、女性のみでは26歳(10～49歳)であった。国外感染例は国内感染例と比較して、男女比が小さく、年齢は男性では高く、女性では低かった。

病型別にみると、腸管アメーバ症のみの症例での男女比は男性(522例)/女性(94例)=5.6/1.0で、年齢の中央値は45歳(4～93歳)、男性のみでは47歳(4～93歳)、女性のみでは33.5歳(10～89歳)であった。腸管外アメーバ症のみの症例での男女比は男性(122例)/女性(13例)=9.4/1.0で、年齢の中央値は47歳(24～79歳)、男性のみでは48歳(24～79歳)、女性のみでは37.0歳(24～54歳)であった。腸管外アメーバ症のある症例(腸管外アメーバ症+腸管及び腸管外アメーバ症)としてみると、男女比は男性(164例)/女性(21例)=7.8/1.0で、年齢の中央値は47.0歳(20～79歳)、男性のみでは48.5歳(24～79歳)、女性のみでは38歳(20～56歳)であった。腸管外アメーバ症を伴うものは男性により多い傾向があり、また、男女ともに、腸管外アメーバ症を伴う症例の年齢が、腸管アメーバ症のみの場合より高かった。

感染経路

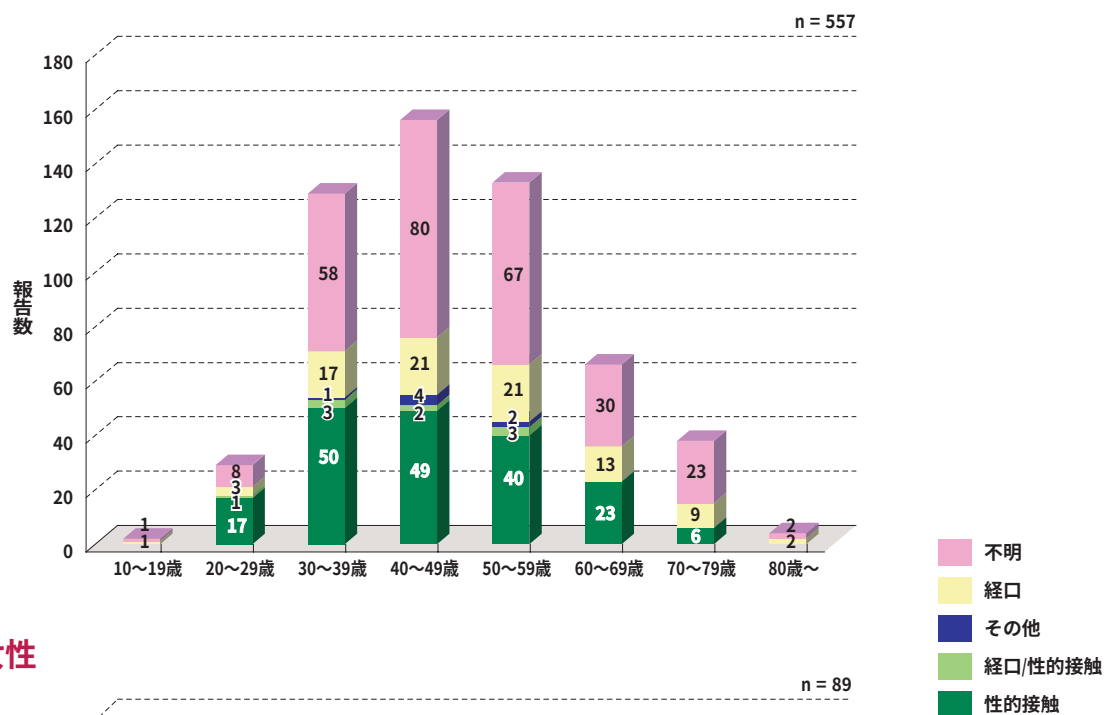
感染地域別、男女別に、感染経路をみた。

国内感染例では、不明が男女ともに最も多く、男性(557例)で48%(269例)、女性(89例)で58%(52例)を占めた。不明以外では、男女ともに性的接触、次いで飲食物による経口感染の順であった。性的接触は、男性で33%(185例)、女性では26%(23例)を占め、男性では同性間85例(性的接触185例の46%)、異性間71例(同38%)、異性間及び同性間4例(2.2%)の順に多く、女性では異性間19例(性的接触23例中の83%)がほとんどであり、同性間2例、性別不明2例であった(表)。特に男性の異性間性的接触は、2004年以降著明な増加が認められている(図6)。年齢群別にみると、性的接触は、男性では30代、40代、50代、60代、20代の順であるのに対し、女性では30代、20代の順で、さらに10代の報告もあり、男性に比して女性の罹患年齢がやや若い傾向が認められた(図4)。

国外感染例では、飲食物による経口感染が男女ともに最も多く、男性(120例)では69%、女性(26例)では92%を占めた(表)。年齢群別にみても、飲食物による経口感染がいずれの年齢群でも多く、性的接触は、男性では30～70代、女性では40代の報告があった(図5)。

図4. アメーバ赤痢国内感染例の年齢群別・感染経路別報告数 2007年

男性



女性

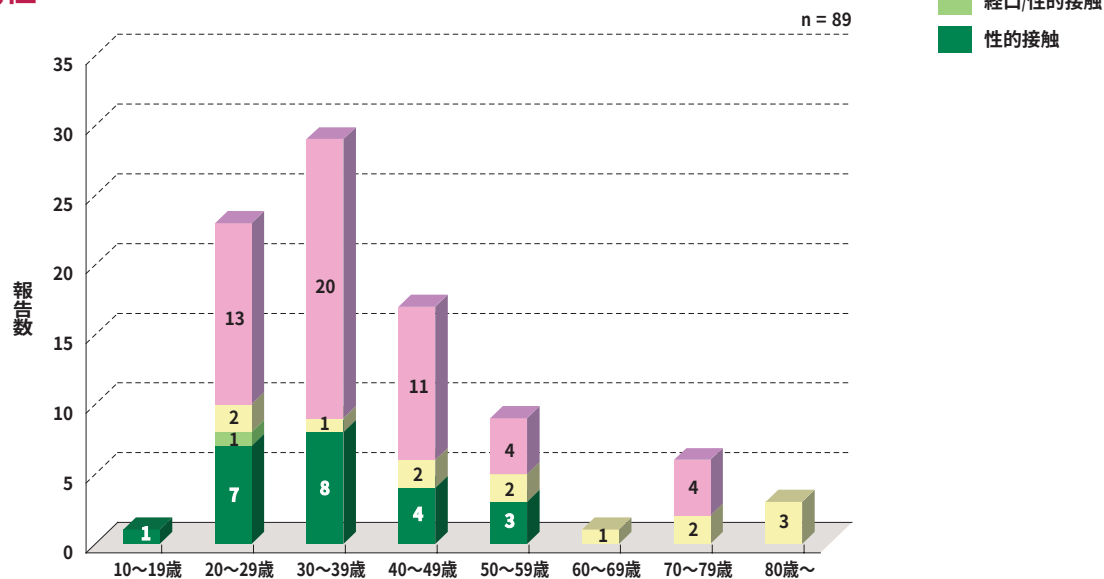
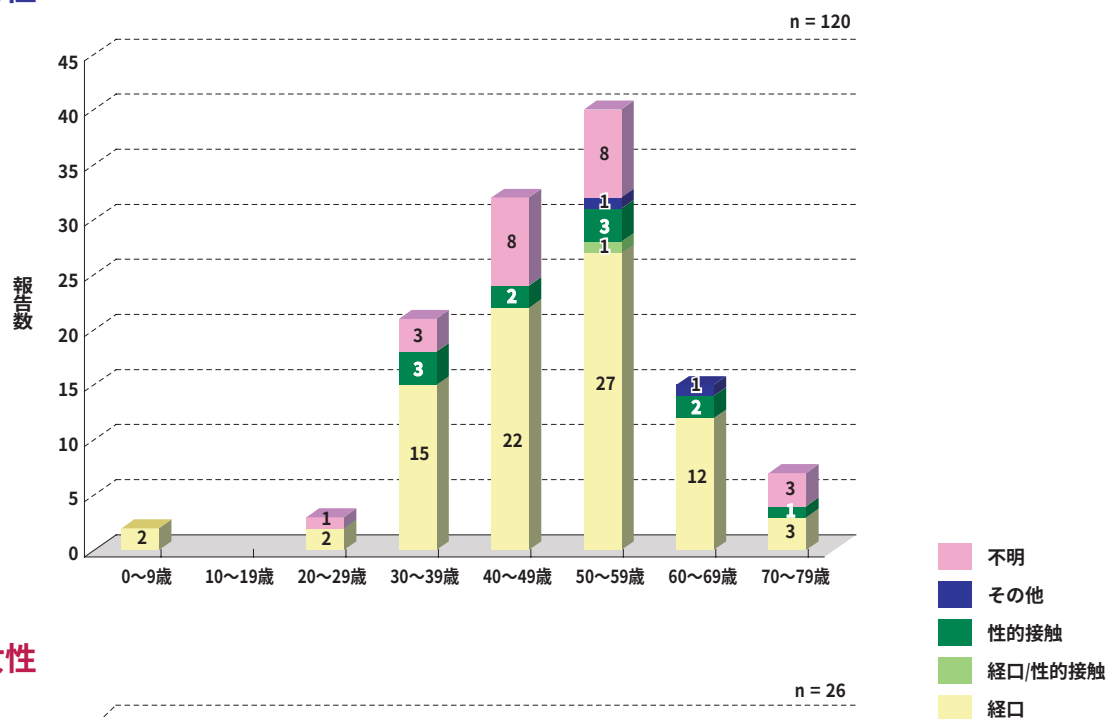


図5. アメーバ赤痢国外感染例の年齢群別・感染経路別報告数 2007年

男性



女性

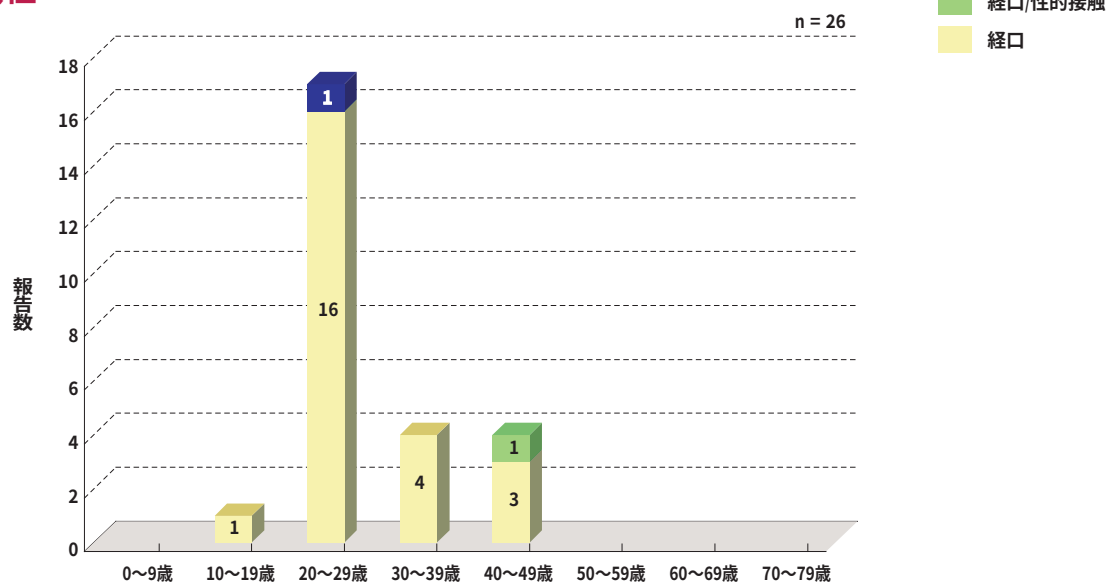


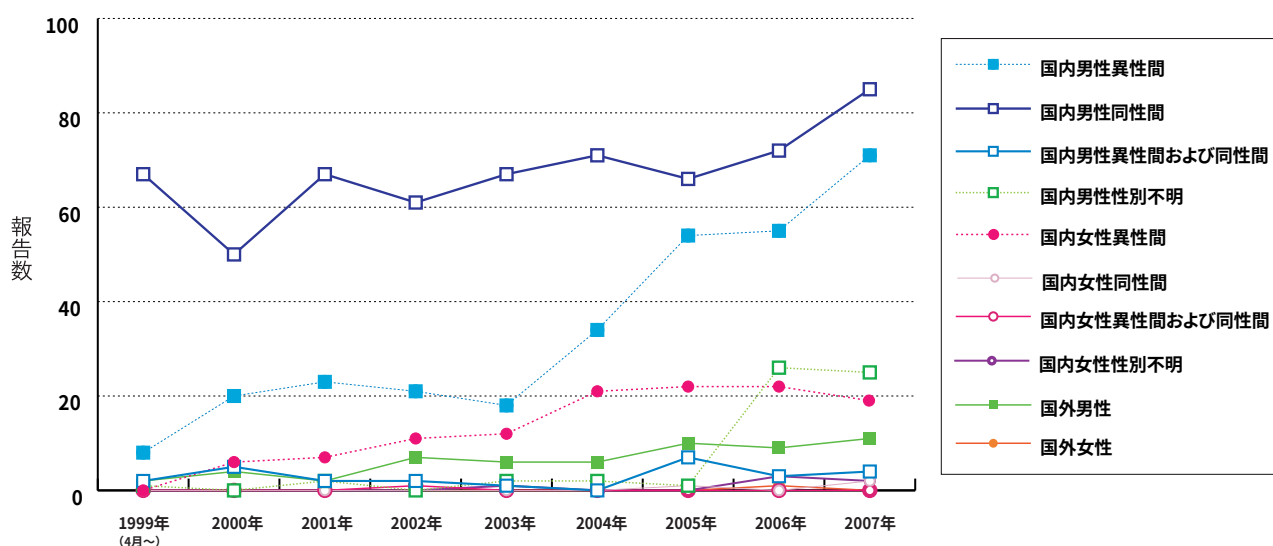
表. アメーバ赤痢の感染経路別報告数 2007年

n=792*

感染地域		国内		国外	
性別		男性	女性	男性	女性
飲食物を介した経口感染		87	13	83	24
性的接触		185	23	11	0
	異性間	71	19	6	0
	同性間	85	2	1	0
	異性及び同性間	4	0	0	0
	性別不明	25	2	4	0
経口及び性的接触		9	1	1	1
	異性間	3	0	1	1
	同性間	1	0	0	0
	異性及び同性間	0	0	0	0
	性別不明	5	1	0	0
その他		7	0	2	1
不明		269	52	23	0
総計		557	89	120	26

※1999年(4月～)～2006年については、感染症週報第9巻44号速報に掲載
*感染地域不明の9例を除く。

図6. 性的接触を感染経路としたアメーバ赤痢の感染地域別・性別・年別報告数(1999年4月～2007年)

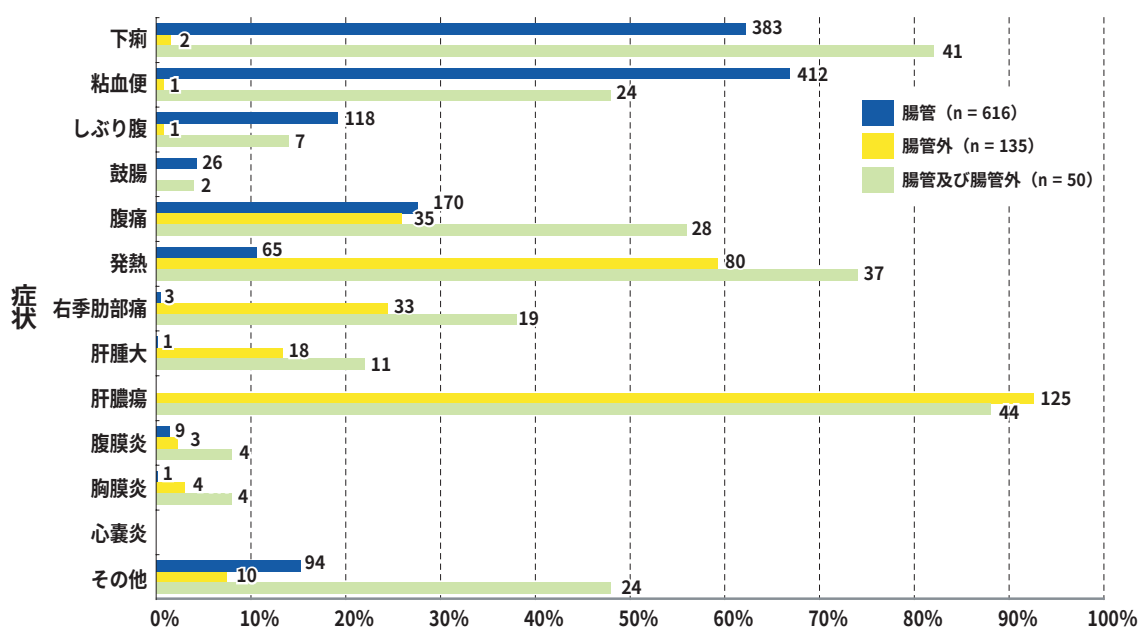


症状

病型別に報告された症状の出現頻度をみた(図7)(複数回答あり)。

図中及び以下の文中に挙げる症状名は届出様式にあらかじめ表示されているものであり、その他の内容は自由記載されたものである。

図7. アメーバ赤痢の症状 2007年



※図中の数字は報告数(複数回答あり)

腸管アメーバ症のみの症例(616例)では、粘血便67%、下痢62%、腹痛28%、しぶり腹19%、発熱11%、鼓腸4.2%、腹膜炎1.5%が認められ、その他の症状としては、血便・下血2.8%のほか、他の症状がなく検便による便潜血陽性のみのものが4.9%、大腸内視鏡異常所見のみのものが0.8%あり、これらは自覚症状がないものの健康診断などによりアメーバ赤痢の診断がなされたものと考えられる。

腸管外アメーバ症のみの症例(135例)では、肝膿瘍93%、発熱59%、腹痛26%、右季肋部痛24%、肝腫大13%、胸膜炎3.0%、腹膜炎2.2%であり、その他の症状としては、腸腰筋膿瘍(1例)などがあった。

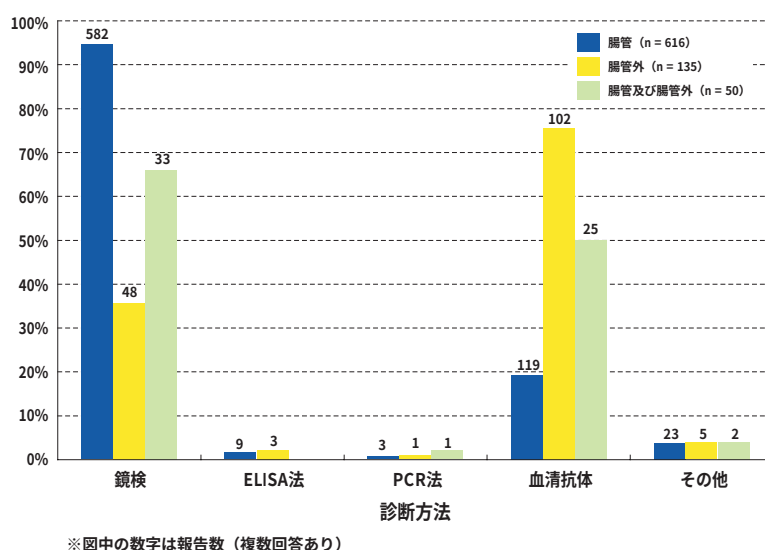
腸管及び腸管外アメーバ症の症例(50例)では、いずれかの病型のみの場合と比較して、発熱(74%)、腹痛(56%)、腹膜炎(8.0%)などの出現頻度がやや高い傾向がみられた。

診断方法

病型別に診断方法と用いられた検体の頻度をみた(図8)(複数回答あり)。

届出基準として定められている診断方法は、1. 顕微鏡下での病原体の検出(検体: 便、大腸粘膜、膿瘍液)、2. ELISA法による病原体の抗原の検出(検体: 便、大腸粘膜、膿瘍液)、3. PCR法による病原体の遺伝子の検出(検体: 便、大腸粘膜、膿瘍液)、4. 血清抗体の検出である。

図8. アメーバ赤痢の診断方法 2007年



腸管アメーバ症のみの症例では、顕微鏡下での病原体の検出94%(うち検体が便20%、大腸粘膜77%、膿瘍液0.7%)、ELISA法による病原体の抗原の検出1.5%、PCR法による病原体の遺伝子の検出0.5%、血清抗体の検出19%であった。症例における各検査の実施率は不明だが、腸管内症状のみの者では血清抗体は必ずしも上昇しないことが従来指摘されている。

腸管外アメーバ症のみの症例では、顕微鏡下での病原体の検出36%(うち検体が便15%、大腸粘膜4%、膿瘍液71%)、ELISA法による病原体の抗原の検出2.2%、PCR法による病原体の遺伝子の検出0.7%、血清抗体の検出76%であった。なお、アメーバ赤痢は、感染症法において無症状病原体保有者を届出対象としていないため、便や大腸粘膜から病原体が検出されていても、アメーバ赤痢による腸管症状が認められないとされた報告は腸管外アメーバ症に分類した。

腸管及び腸管外アメーバ症の症例では、顕微鏡下での病原体の検出66%(うち検体が便39%、大腸粘膜45%、膿瘍液15%)、PCR法による病原体の遺伝子の検出2%、血清抗体の検出50%であった。

まとめ

2007年のアメーバ赤痢の報告数は、国内感染例、国外感染例ともに前年よりさらに増加した。国内感染例では性的接触による感染として報告されたものが多く、特に男性での異性間性的接触によるとする報告の著しい増加傾向が認められている。わが国においては男性同性愛者や知的障害者施設における集団感染などが注目されてきたが、最近ではCSW(コマーシャルセックスワーカー)にも感染が拡大しているとの報告もあり、男性同性愛者間などの比較的限られた集団における問題として捉えてはならないと考えられる。また、アメーバ赤痢患者が梅毒、HIV、B型肝炎等の性感染症を合併していることも報告されており、これらの性的接触によって感染する疾患について、総合的な性感染症対策としての取り組みが重要である。



感染症の話

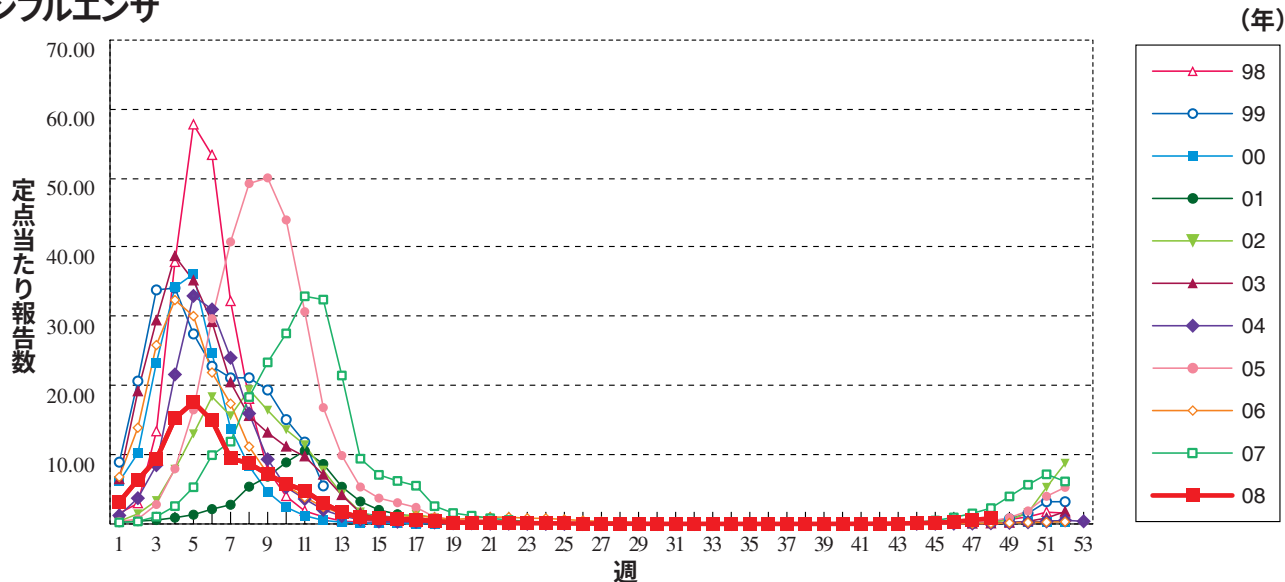
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

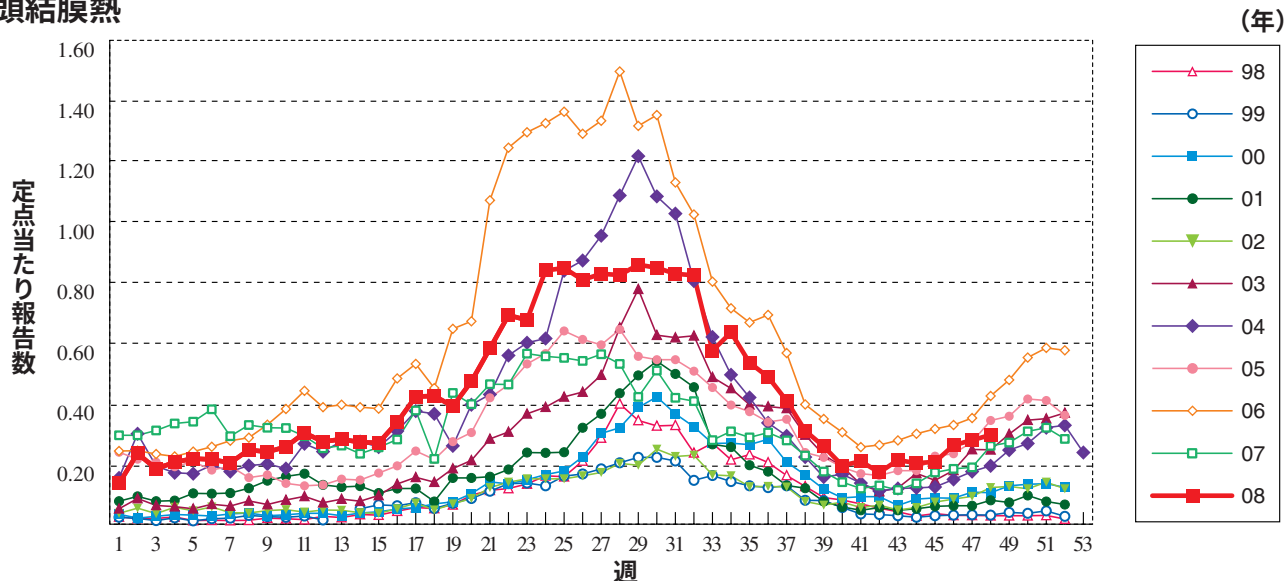


グラフ総覧(48週)

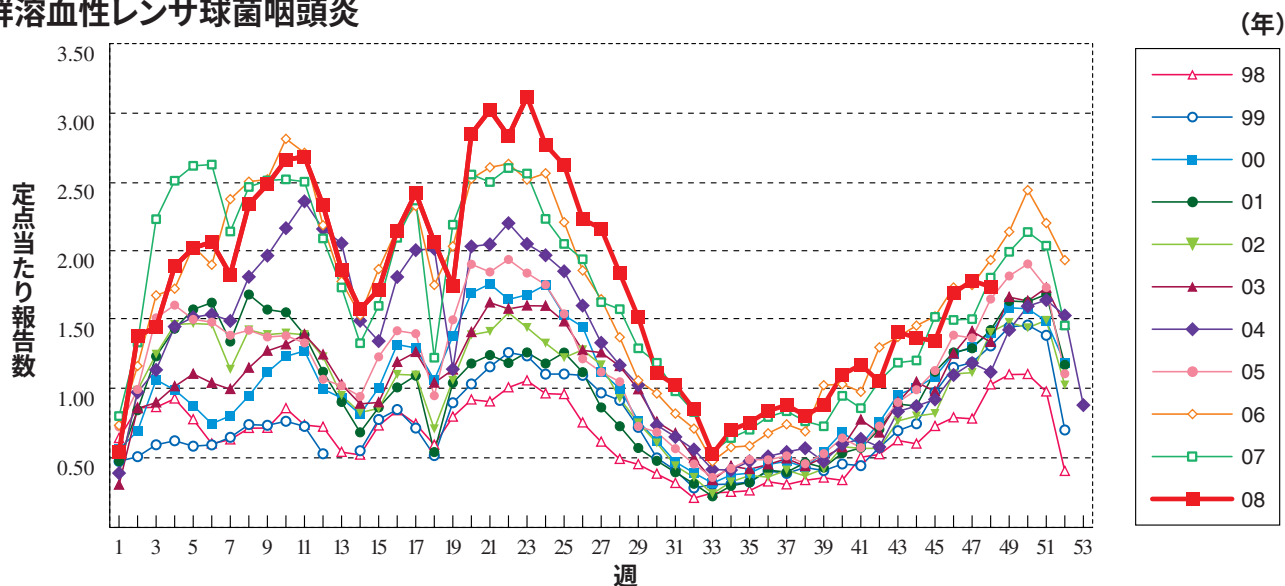
インフルエンザ



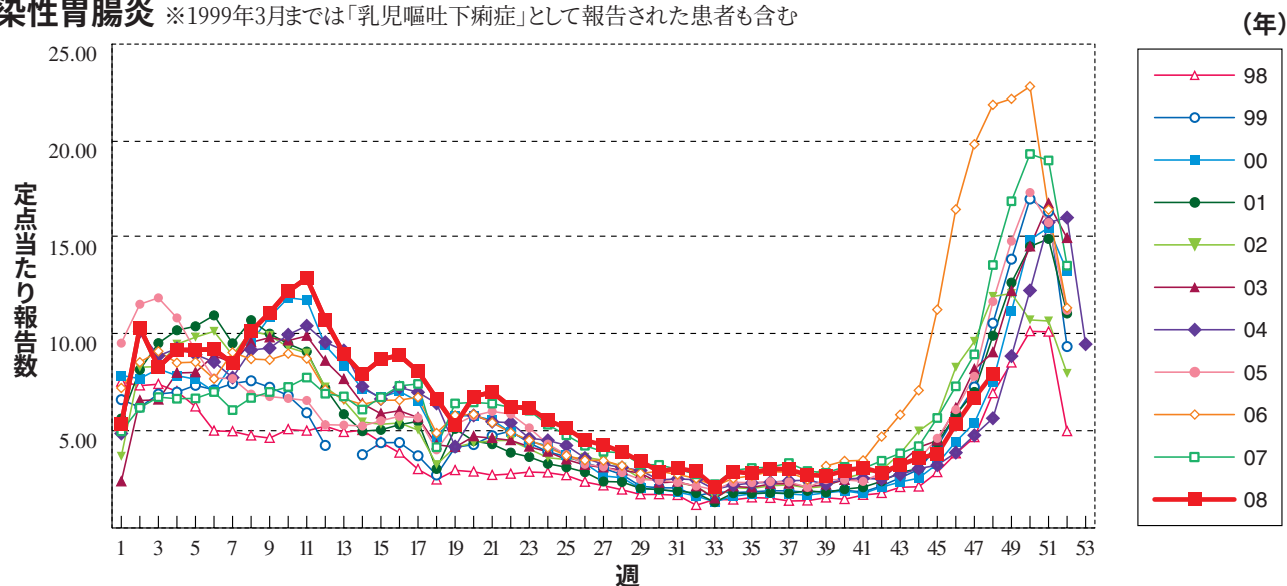
咽頭結膜熱



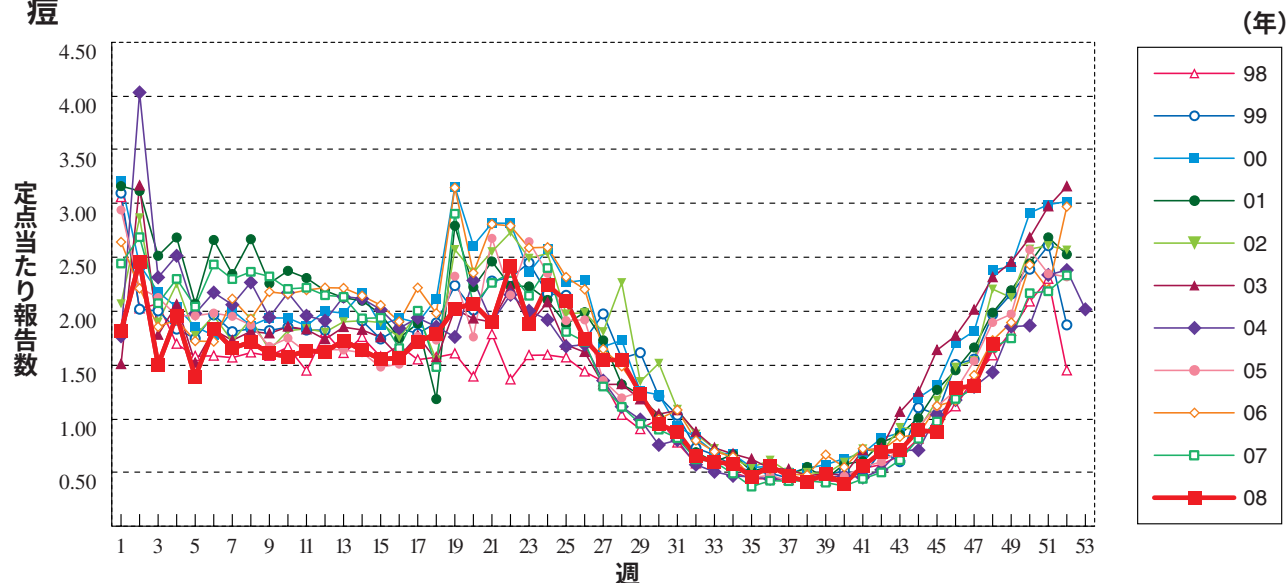
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



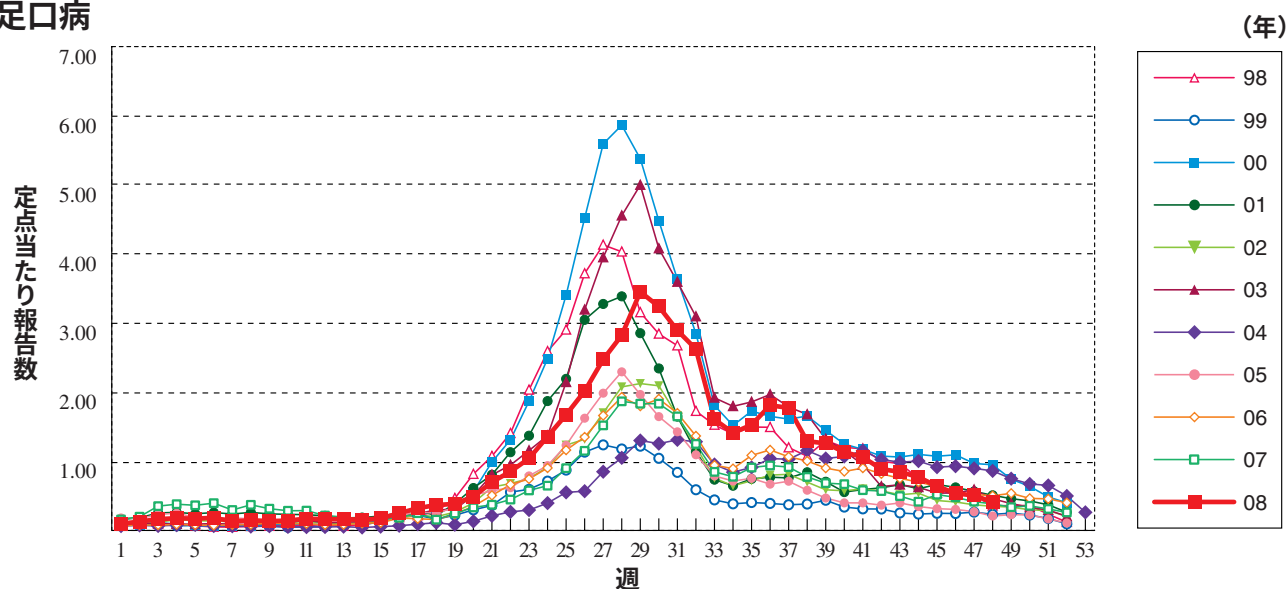
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



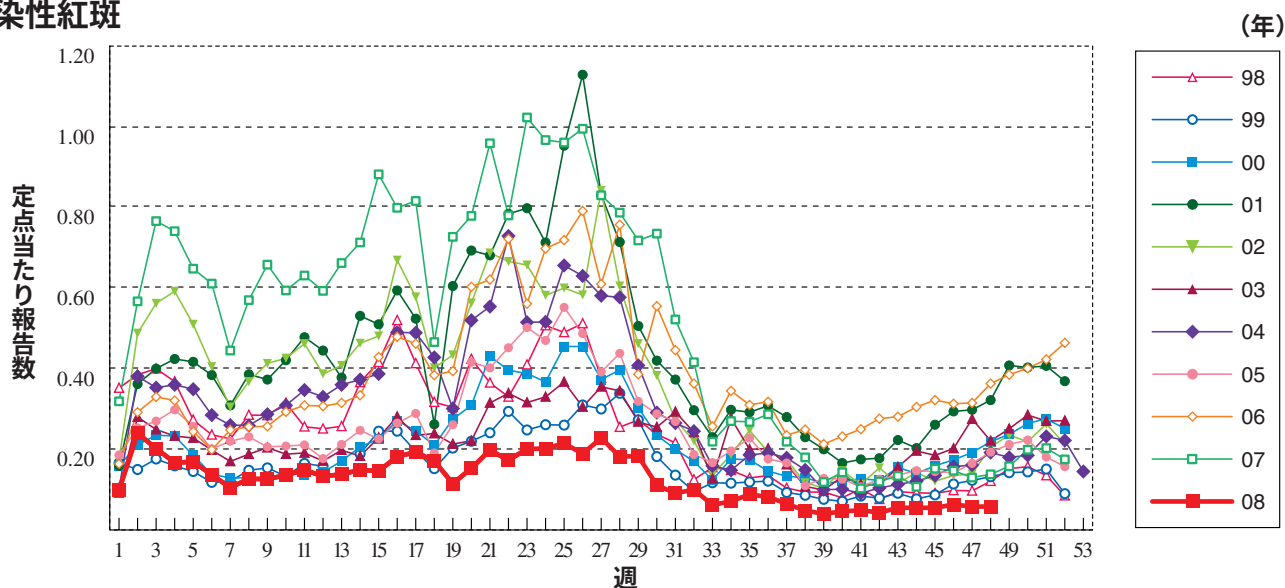
水痘



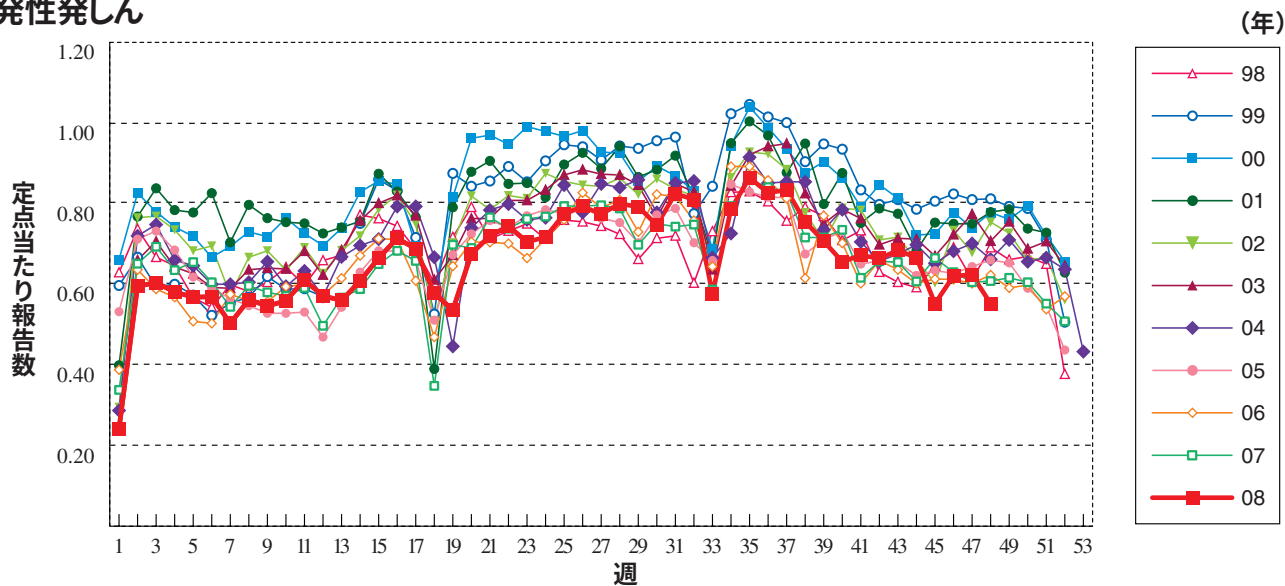
手足口病



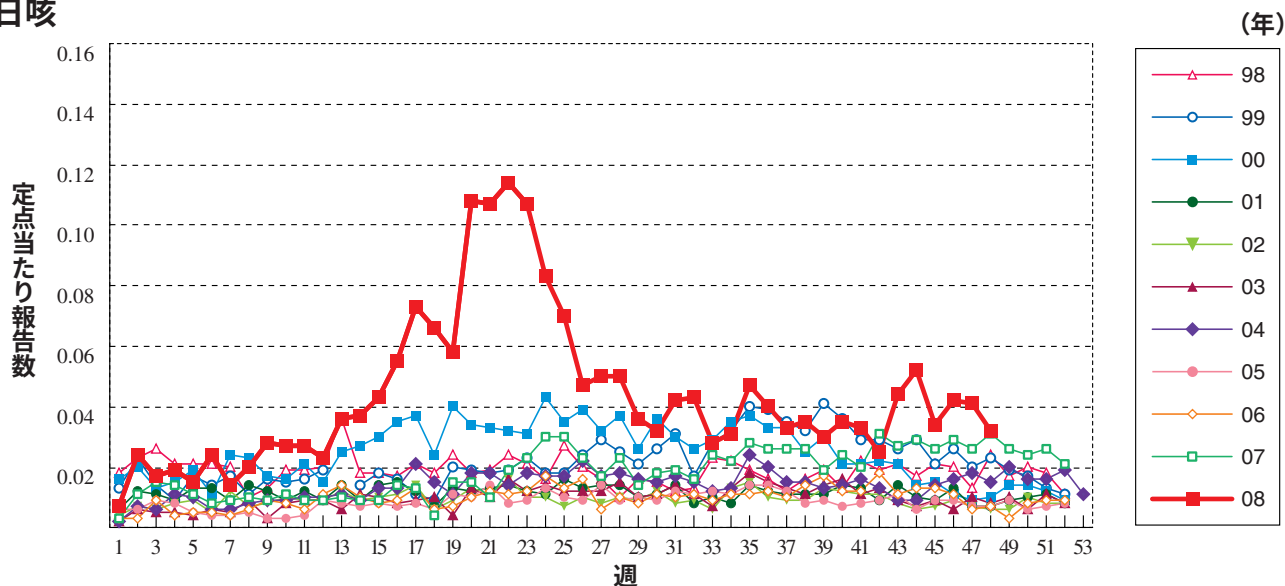
伝染性紅斑



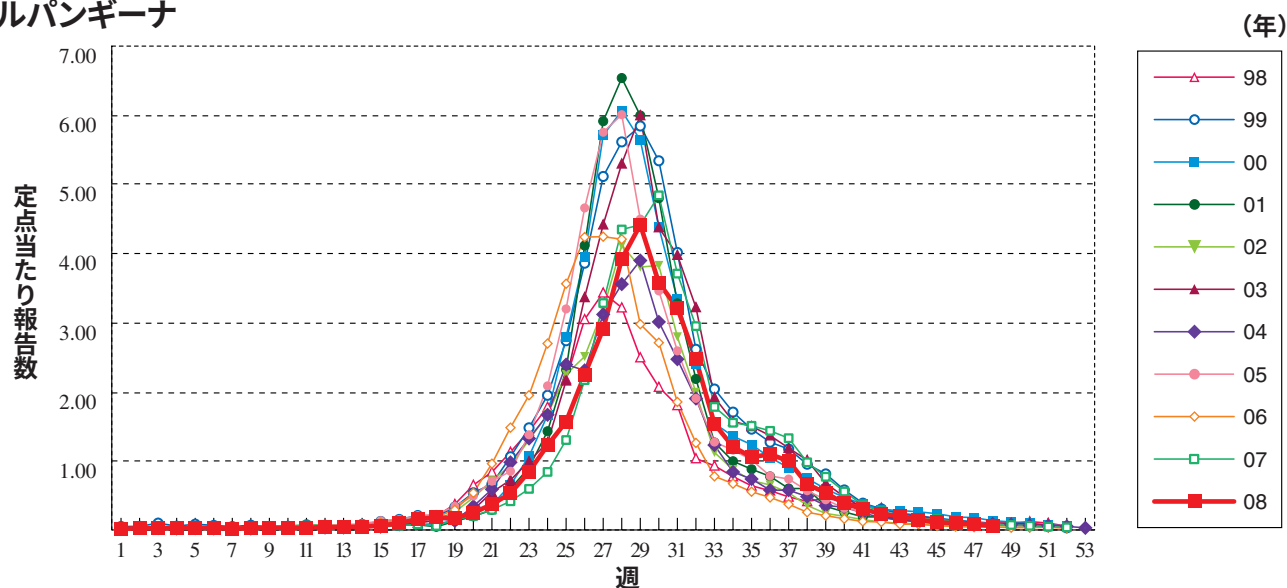
突発性発しん



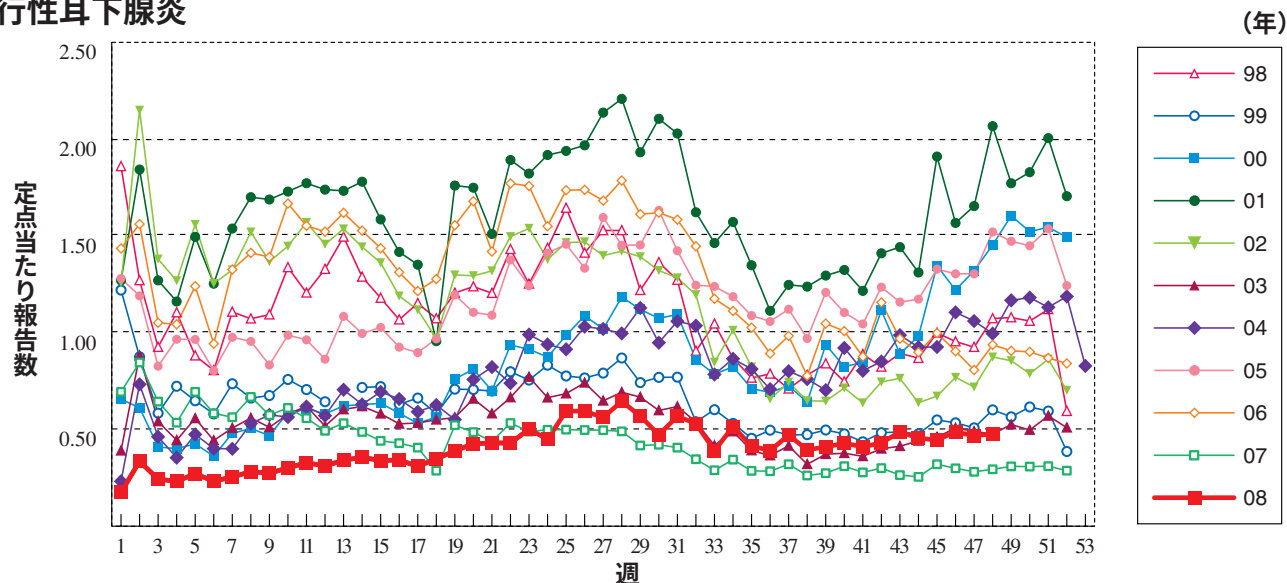
百日咳



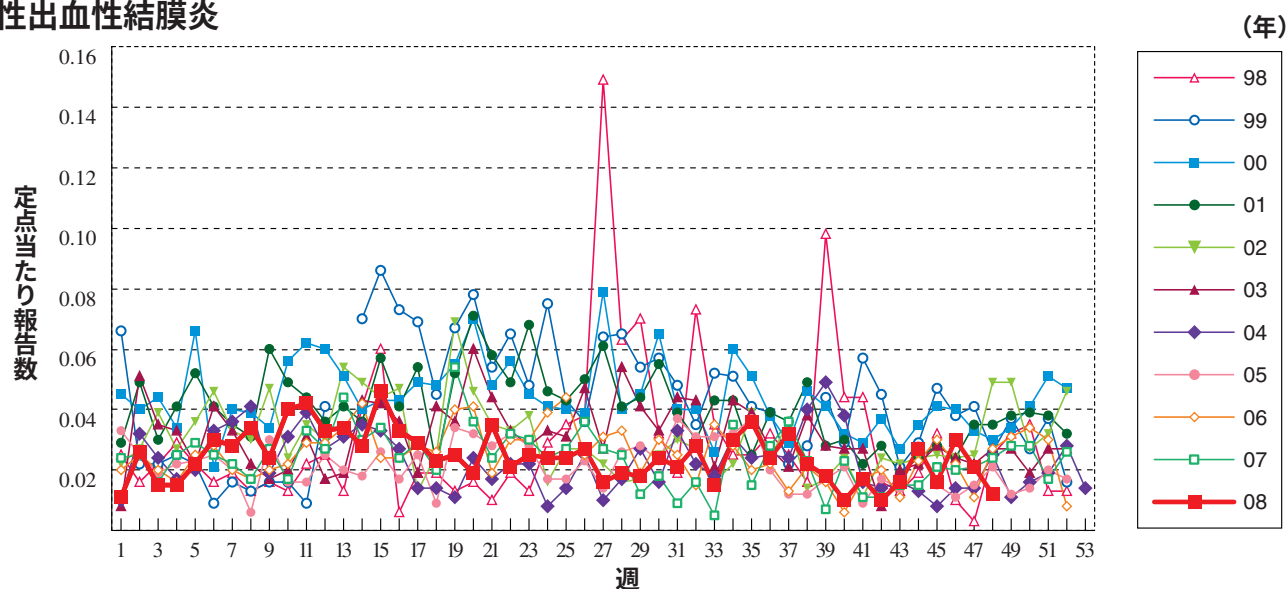
ヘルパンギーナ



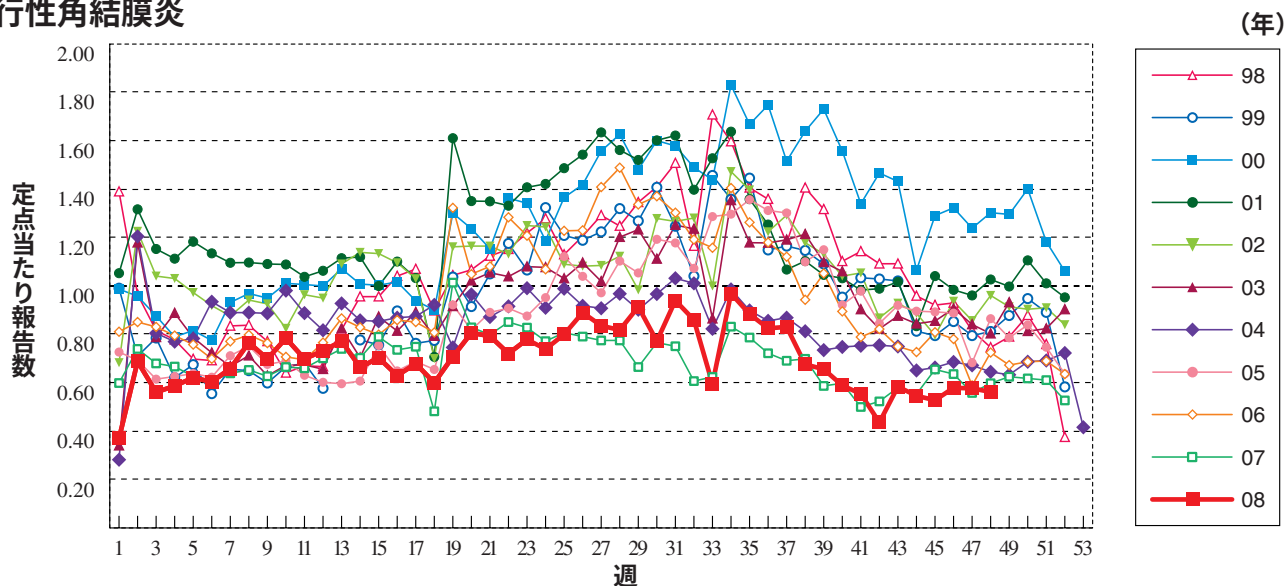
流行性耳下腺炎



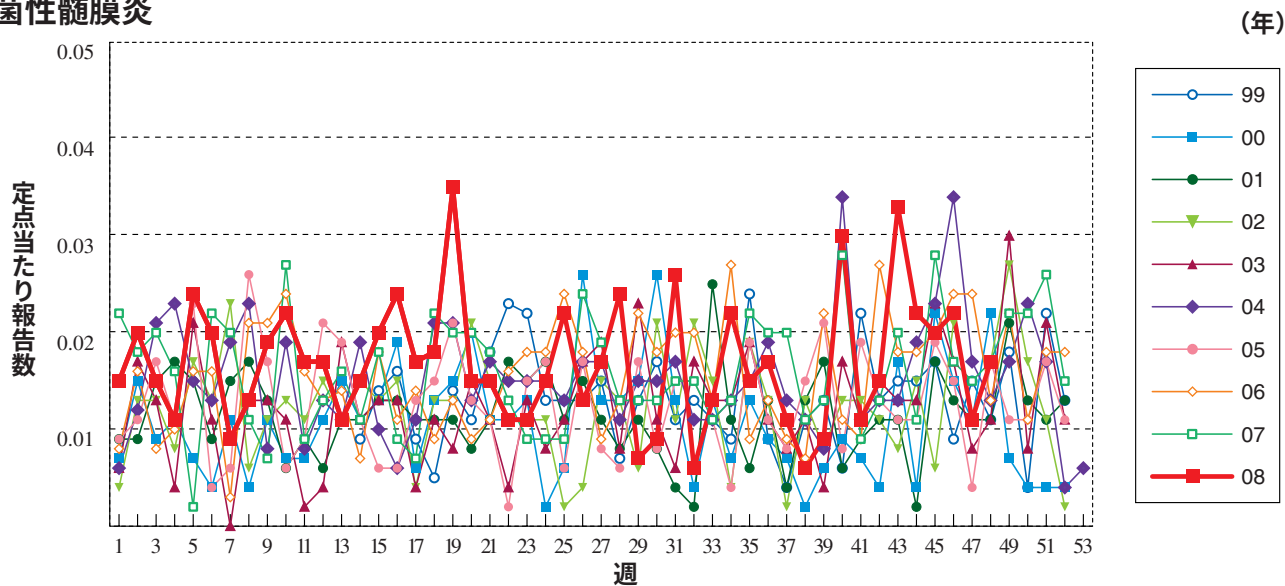
急性出血性結膜炎



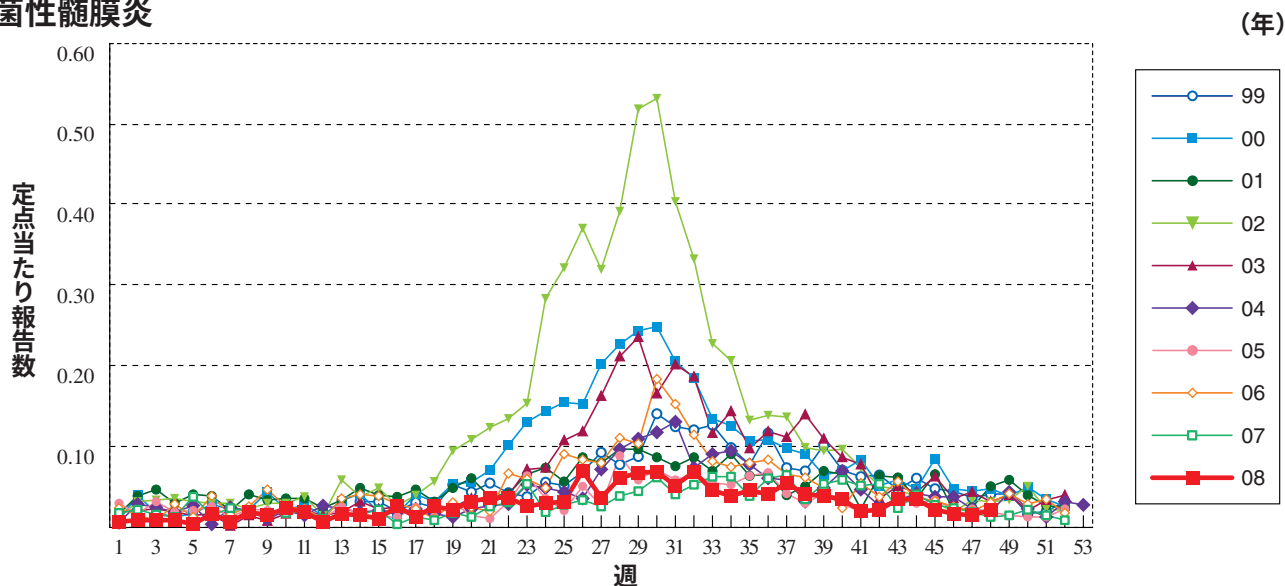
流行性角結膜炎



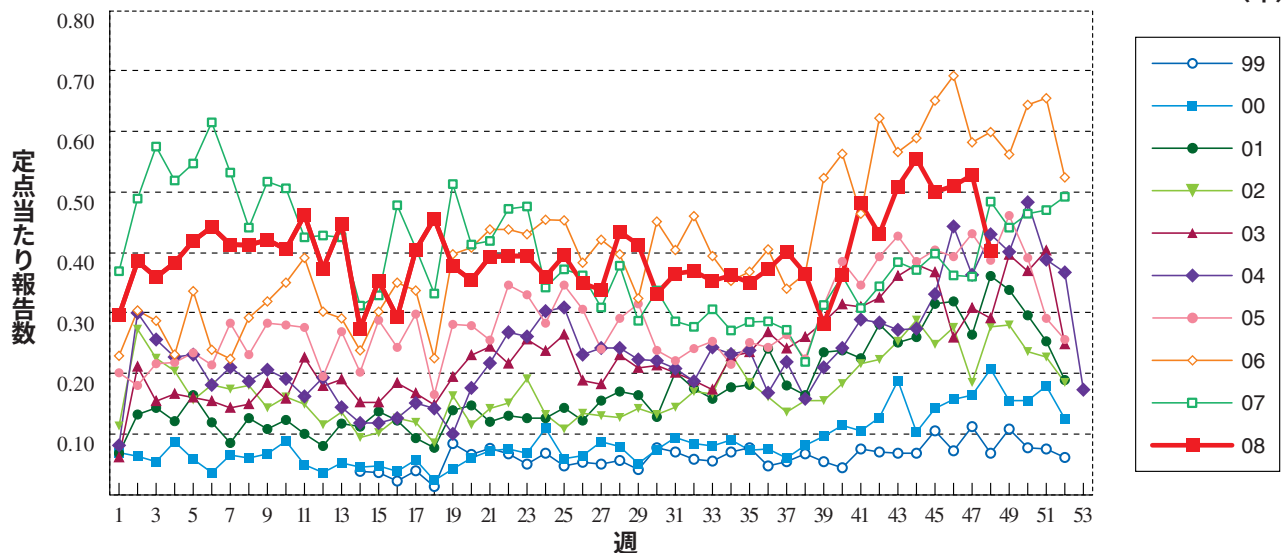
細菌性髄膜炎



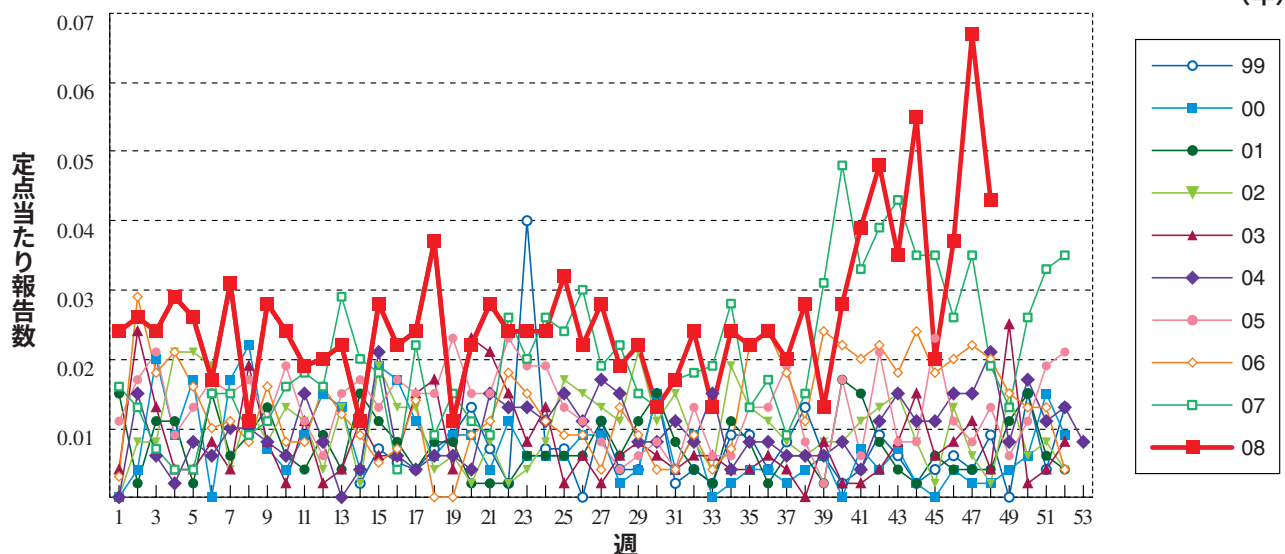
無菌性髄膜炎



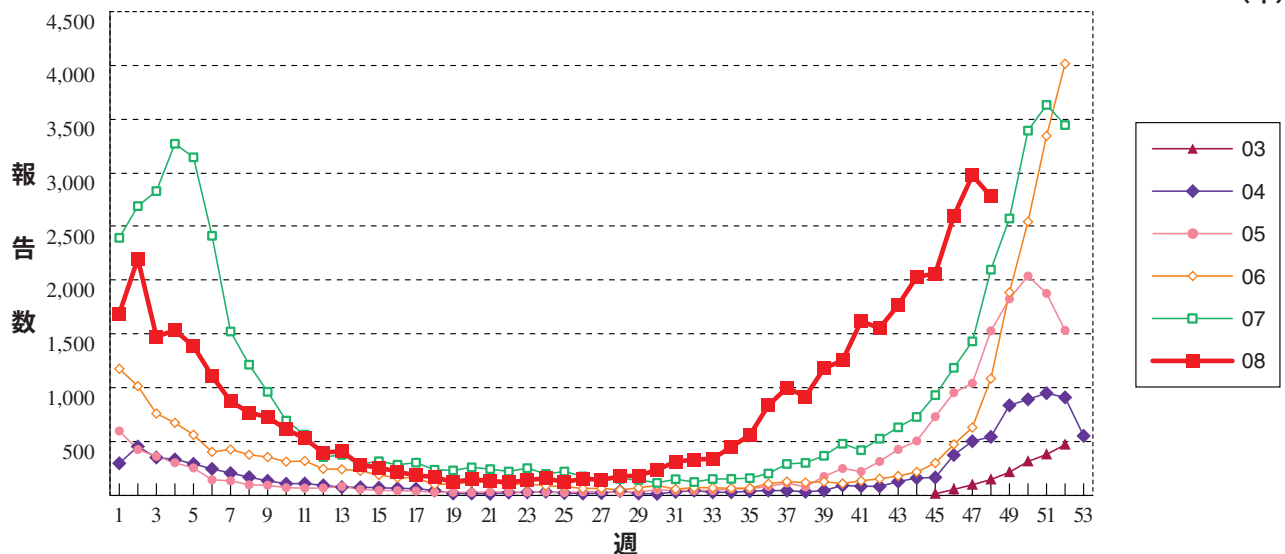
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





48週のデータ

注)表中の報告数は12月3日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年48週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	231	25189	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	691	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	434	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	201	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	368	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	144	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	239	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	308	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	543	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	277	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1208	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	1284	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	3943	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	1579	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	317	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	175	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	159	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	133	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	59	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	245	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	409	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	668	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1832	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	375	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	259	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	566	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1847	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	874	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	335	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	278	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	91	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	143	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	286	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	588	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	259	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	188	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	181	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	228	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	143	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	1130	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	161	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	366	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	319	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	285	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	247	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	371	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	287	

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年48週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	45	4	285	52	4185	1	52	-	25	-	41
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	114	-	2	-	-	-	16
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	9	7	103	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	80	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	96	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	47	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	32	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	76	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	13	-	132	-	5	-	1	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	13	-	181	-	-	-	4	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	6	1	60	8	398	-	12	-	4	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	25	1	170	-	7	-	4	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	47	1	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	1	76	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	93	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	76	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	49	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	99	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	91	-	2	-	3	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	14	4	160	-	3	-	2	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	49	-	1	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	51	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	127	-	3	-	4	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	20	-	239	-	5	-	2	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	3	140	-	5	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	111	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	106	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	30	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	28	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	3	54	2	259	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	17	164	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	136	-	1	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	90	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	43	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	81	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	19	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサヌル 森 林 病		Q 熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	1	163	-	16	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	7	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	1	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	301	-	96
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	52	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	8	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	12	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	30
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	8
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	18	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	10
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	41	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	116	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	1	51	-	5	-	4	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年48週

	類 鼻 疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅 斑 熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	5	818	-	37	-	-	7	778	2	215	-	166	-	9	-	138
北海道	-	-	-	27	-	-	-	-	-	20	-	3	-	10	-	-	-	5
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	4	-	1	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3
宮城県	-	-	-	26	-	-	-	-	-	9	-	7	-	1	-	1	-	2
秋田県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	10	-	-	-	3	-	1	-	1
茨城県	-	-	-	21	-	1	-	-	-	10	-	2	-	7	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	8	-	4	-	2	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	9	-	-	-	-	1	10	-	7	-	2	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	47	-	-	-	-	-	28	-	3	-	5	-	-	-	7
千葉県	-	-	-	20	-	-	-	-	4	34	-	2	-	8	-	2	-	4
東京都	-	-	-	75	-	4	-	-	1	177	1	29	-	8	-	4	-	14
神奈川県	-	-	-	53	-	2	-	-	-	66	-	8	-	6	-	-	-	13
新潟県	-	-	-	30	-	1	-	-	-	8	-	2	-	4	-	-	-	2
富山県	-	-	1	19	-	-	-	-	-	5	-	1	-	4	-	-	-	-
石川県	-	-	-	11	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	4
福井県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
山梨県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1
長野県	-	-	-	24	-	-	-	-	-	10	-	5	-	7	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	17	-	-	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	33	-	1	-	-	-	17	-	1	-	3	-	-	-	9
愛知県	-	-	1	53	-	-	-	-	-	47	-	12	-	9	-	-	-	7
三重県	-	-	-	18	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	9	-	5	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	1	22	-	-	-	-	1	22	-	5	-	2	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	62	-	-	-	-	-	96	-	26	-	30	-	1	-	9
兵庫県	-	-	-	38	-	-	-	-	-	37	-	16	-	8	-	-	-	7
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	11	-	3	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	24	-	-	-	-	-	5	-	11	-	8	-	-	-	4
広島県	-	-	-	25	-	-	-	-	-	14	-	13	-	3	-	-	-	1
山口県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	9	-	4	-	2	-	-	-	2
高知県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	23	-	-	-	-	-	30	-	17	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	7	-	-	-	6	-	-	-	3
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	2	1	6	-	1	-	-	-	2
鹿児島県	-	-	-	8	-	3	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	7	-	23	-	-	-	3	-	1	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	107	10	1372	1	70	-	10	-	1	5	753	-	113	-	-	-	79
北海道	-	1	-	27	-	1	-	1	-	-	1	12	-	10	-	-	-	4
青森県	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-
福島県	-	1	-	4	1	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	17	-	-	-	-	-	-	-	8	-	5	-	-	-	-
栃木県	-	3	-	19	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	2
埼玉県	-	4	2	38	-	2	-	1	-	-	1	29	-	6	-	-	-	7
千葉県	-	2	-	49	-	6	-	1	-	-	-	22	-	8	-	-	-	1
東京都	-	17	4	474	-	19	-	2	-	-	1	175	-	5	-	-	-	15
神奈川県	-	4	1	75	-	10	-	-	-	1	-	29	-	6	-	-	-	9
新潟県	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1
富山県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	12	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	6	-	12	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	1	-	12	-	2	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	2
静岡県	-	4	-	25	-	2	-	-	-	-	-	34	-	3	-	-	-	9
愛知県	-	10	2	101	-	1	-	-	-	-	-	60	-	10	-	-	-	6
三重県	-	3	-	8	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	11	-	1	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-
京都府	-	-	-	23	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	8	-	209	-	7	-	1	-	-	-	72	-	-	-	-	-	2
兵庫県	-	11	1	34	-	2	-	1	-	-	-	12	-	1	-	-	-	5
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	18	-	3	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	3
広島県	-	3	-	20	-	2	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	6	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	1	5	-	3	-	-	-	1
福岡県	-	7	-	38	-	2	-	-	-	-	-	72	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	7	-	1	-	1	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	12	-	1	-	-	-	-	-	35	-	2	-	-	-	3
大分県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	1	8	-	2	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	-	8	-	-	-	1	-	-	-	5	-	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年48週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	290	10	10944
北海道	-	11	-	1457
青森県	-	1	-	62
岩手県	-	2	-	11
宮城県	-	4	-	22
秋田県	-	1	1	158
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	25
茨城県	-	5	1	97
栃木県	-	5	-	42
群馬県	-	1	-	85
埼玉県	-	9	-	384
千葉県	-	11	2	1064
東京都	-	44	-	1166
神奈川県	-	33	2	3540
新潟県	-	-	-	43
富山県	-	3	-	8
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	1	-	27
長野県	-	14	-	60
岐阜県	-	1	1	20
静岡県	-	17	-	245
愛知県	-	3	-	195
三重県	-	5	-	43
滋賀県	-	2	-	39
京都府	-	2	-	193
大阪府	-	22	2	388
兵庫県	-	15	-	141
奈良県	-	2	-	12
和歌山県	-	2	-	40
鳥取県	-	-	-	7
島根県	-	4	-	4
岡山県	-	13	-	131
広島県	-	14	-	148
山口県	-	-	-	19
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	-	42
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	-	676
佐賀県	-	-	-	7
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	1	90
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	10
鹿児島県	-	2	-	24
沖縄県	-	1	-	40

*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	3911	0.83	889	0.29	5247	1.74	23977	7.96	5101	1.69	1238	0.41	174	0.06	1665	0.55	97	0.03
北海道	193	0.87	178	1.25	370	2.61	410	2.89	352	2.48	85	0.60	6	0.04	54	0.38	6	0.04
青森県	4	0.06	2	0.05	59	1.40	86	2.05	63	1.50	32	0.76	3	0.07	17	0.40	1	0.02
岩手県	31	0.48	1	0.03	56	1.40	180	4.50	114	2.85	25	0.63	-	-	15	0.38	-	-
宮城県	65	0.68	14	0.23	68	1.13	332	5.53	174	2.90	49	0.82	24	0.40	38	0.63	-	-
秋田県	8	0.15	28	0.82	48	1.41	192	5.65	56	1.65	20	0.59	2	0.06	12	0.35	2	0.06
山形県	4	0.08	12	0.40	100	3.33	122	4.07	147	4.90	20	0.67	3	0.10	19	0.63	-	-
福島県	53	0.66	14	0.29	79	1.65	477	9.94	89	1.85	22	0.46	8	0.17	32	0.67	-	-
茨城県	78	0.65	10	0.13	144	1.92	396	5.28	74	0.99	53	0.71	8	0.11	23	0.31	-	-
栃木県	130	1.71	5	0.10	74	1.54	277	5.77	55	1.15	56	1.17	-	-	29	0.60	2	0.04
群馬県	23	0.23	9	0.15	58	0.94	410	6.61	154	2.48	24	0.39	6	0.10	41	0.66	1	0.02
埼玉県	161	0.67	22	0.14	360	2.31	1772	11.36	227	1.46	82	0.53	7	0.04	103	0.66	6	0.04
千葉県	263	1.34	23	0.18	297	2.38	973	7.78	245	1.96	60	0.48	11	0.09	78	0.62	10	0.08
東京都	184	0.65	45	0.31	228	1.55	1592	10.83	183	1.24	52	0.35	15	0.10	72	0.49	5	0.03
神奈川県	153	0.49	30	0.15	361	1.79	2388	11.82	366	1.81	117	0.58	12	0.06	121	0.60	9	0.04
新潟県	9	0.09	69	1.15	145	2.42	286	4.77	196	3.27	29	0.48	14	0.23	29	0.48	1	0.02
富山県	27	0.56	12	0.41	95	3.28	285	9.83	66	2.28	-	-	-	-	14	0.48	-	-
石川県	8	0.17	19	0.66	44	1.52	240	8.28	60	2.07	2	0.07	-	-	16	0.55	-	-
福井県	66	2.06	15	0.68	49	2.23	200	9.09	29	1.32	14	0.64	1	0.05	12	0.55	-	-
山梨県	142	3.55	1	0.04	23	0.96	87	3.63	25	1.04	1	0.04	-	-	7	0.29	-	-
長野県	18	0.21	6	0.11	103	1.87	367	6.67	108	1.96	13	0.24	1	0.02	17	0.31	1	0.02
岐阜県	45	0.52	15	0.28	32	0.60	328	6.19	77	1.45	32	0.60	-	-	25	0.47	-	-
静岡県	17	0.14	17	0.20	174	2.02	766	8.91	139	1.62	33	0.38	6	0.07	53	0.62	1	0.01
愛知県	140	0.72	48	0.27	339	1.87	1374	7.59	205	1.13	66	0.36	5	0.03	101	0.56	5	0.03
三重県	18	0.25	8	0.18	52	1.16	518	11.51	108	2.40	7	0.16	3	0.07	29	0.64	-	-
滋賀県	37	0.69	8	0.24	38	1.15	294	8.91	59	1.79	11	0.33	2	0.06	8	0.24	-	-
京都府	150	1.24	6	0.08	112	1.53	474	6.49	100	1.37	17	0.23	2	0.03	22	0.30	-	-
大阪府	597	2.09	48	0.26	390	2.09	1181	6.32	273	1.46	27	0.14	8	0.04	118	0.63	8	0.04
兵庫県	447	2.26	20	0.16	140	1.09	741	5.74	182	1.41	63	0.49	7	0.05	55	0.43	1	0.01
奈良県	34	0.62	8	0.23	34	0.97	162	4.63	42	1.20	9	0.26	-	-	11	0.31	2	0.06
和歌山県	83	1.66	4	0.13	51	1.65	75	2.42	57	1.84	5	0.16	1	0.03	17	0.55	-	-
鳥取県	16	0.55	5	0.26	71	3.74	76	4.00	30	1.58	2	0.11	-	-	13	0.68	-	-
島根県	130	3.42	11	0.48	22	0.96	175	7.61	31	1.35	4	0.17	1	0.04	12	0.52	-	-
岡山県	65	0.77	10	0.19	36	0.67	364	6.74	74	1.37	15	0.28	-	-	20	0.37	1	0.02
広島県	111	0.97	19	0.27	102	1.44	372	5.24	106	1.49	11	0.15	6	0.08	42	0.59	10	0.14
山口県	85	1.20	14	0.28	97	1.94	766	15.32	58	1.16	17	0.34	1	0.02	30	0.60	2	0.04
徳島県	13	0.34	15	0.65	19	0.83	101	4.39	35	1.52	2	0.09	-	-	28	1.22	-	-
香川県	14	0.30	9	0.32	28	1.00	170	6.07	21	0.75	5	0.18	1	0.04	12	0.43	-	-
愛媛県	8	0.13	12	0.32	50	1.35	199	5.38	102	2.76	25	0.68	2	0.05	29	0.78	-	-
高知県	4	0.08	3	0.10	29	0.97	116	3.87	24	0.80	32	1.07	2	0.07	10	0.33	-	-
福岡県	105	0.53	33	0.28	279	2.33	1957	16.31	170	1.42	44	0.37	2	0.02	106	0.88	19	0.16
佐賀県	12	0.31	6	0.26	22	0.96	167	7.26	34	1.48	5	0.22	1	0.04	15	0.65	-	-
長崎県	3	0.04	11	0.25	34	0.77	442	10.05	44	1.00	12	0.27	-	-	16	0.36	-	-
熊本県	6	0.08	11	0.23	77	1.60	704	14.67	96	2.00	21	0.44	2	0.04	40	0.83	1	0.02
大分県	21	0.36	2	0.06	109	3.03	593	16.47	70	1.94	5	0.14	-	-	23	0.64	2	0.06
宮崎県	11	0.19	10	0.28	82	2.28	407	11.31	101	2.81	2	0.06	1	0.03	44	1.22	-	-
鹿児島県	24	0.26	18	0.33	64	1.16	299	5.44	53	0.96	8	0.15	-	-	28	0.51	-	-
沖縄県	95	1.64	3	0.09	3	0.09	84	2.47	27	0.79	2	0.06	-	-	9	0.26	1	0.03

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年48週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	173	0.06	1438	0.48	8	0.01	377	0.56	8	0.02	10	0.02	186	0.40	20	0.04	2781
北海道	19	0.13	21	0.15	-	-	9	0.31	-	-	-	-	13	0.57	2	0.09	163
青森県	-	-	9	0.21	-	-	6	0.55	-	-	-	-	6	1.00	-	-	37
岩手県	7	0.18	6	0.15	-	-	9	0.64	-	-	-	-	9	0.45	-	-	81
宮城県	9	0.15	27	0.45	1	0.08	3	0.25	-	-	-	-	8	0.67	-	-	32
秋田県	-	-	10	0.29	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.13	-	-	52
山形県	7	0.23	13	0.43	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0.70	-	-	53
福島県	2	0.04	18	0.38	-	-	7	0.58	-	-	-	-	21	3.00	2	0.29	118
茨城県	-	-	7	0.09	-	-	16	0.94	-	-	-	-	1	0.08	-	-	28
栃木県	7	0.15	7	0.15	-	-	12	1.00	-	-	-	-	7	1.00	-	-	76
群馬県	1	0.02	67	1.08	-	-	37	2.64	-	-	-	-	11	1.38	-	-	57
埼玉県	5	0.03	62	0.40	2	0.05	13	0.31	-	-	-	-	5	0.56	1	0.11	131
千葉県	10	0.08	68	0.54	-	-	20	0.65	-	-	2	0.25	4	0.50	-	-	54
東京都	12	0.08	85	0.58	-	-	6	0.16	2	0.08	2	0.08	9	0.38	3	0.13	90
神奈川県	3	0.01	73	0.36	-	-	39	0.95	-	-	-	-	1	0.13	-	-	135
新潟県	3	0.05	11	0.18	1	0.10	10	1.00	-	-	-	-	2	0.17	1	0.08	70
富山県	-	-	5	0.17	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-	-	-	10
石川県	1	0.03	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.20	-	-	23
福井県	-	-	41	1.86	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33	-	-	22
山梨県	-	-	2	0.08	-	-	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	1	0.02	3	0.05	-	-	3	0.27	-	-	-	-	3	0.27	-	-	28
岐阜県	1	0.02	48	0.91	-	-	1	0.09	-	-	1	0.20	-	-	-	-	49
静岡県	1	0.01	23	0.27	1	0.05	11	0.55	-	-	1	0.11	6	0.67	-	-	96
愛知県	2	0.01	133	0.73	-	-	6	0.18	1	0.07	1	0.07	9	0.60	9	0.60	151
三重県	1	0.02	9	0.20	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	55
滋賀県	-	-	32	0.97	-	-	3	0.38	-	-	-	-	9	1.29	-	-	19
京都府	1	0.01	18	0.25	-	-	3	0.17	1	0.14	-	-	-	-	-	-	20
大阪府	10	0.05	99	0.53	-	-	6	0.12	2	0.14	1	0.07	12	0.86	1	0.07	199
兵庫県	3	0.02	26	0.20	-	-	31	0.91	-	-	-	-	1	0.09	-	-	135
奈良県	1	0.03	13	0.37	2	0.22	1	0.11	-	-	-	-	1	0.17	-	-	28
和歌山県	3	0.10	4	0.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	1	0.09	-	-	30
鳥取県	-	-	8	0.42	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
島根県	1	0.04	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.13	-	-	10
岡山県	1	0.02	22	0.41	-	-	5	0.42	1	0.20	-	-	2	0.40	1	0.20	17
広島県	1	0.01	19	0.27	-	-	15	0.79	-	-	-	-	7	0.33	-	-	161
山口県	3	0.06	8	0.16	1	0.11	1	0.11	-	-	-	-	-	-	-	-	36
徳島県	1	0.04	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
香川県	2	0.07	8	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	105
愛媛県	1	0.03	23	0.62	-	-	11	1.38	1	0.17	-	-	3	0.50	-	-	58
高知県	2	0.07	53	1.77	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.29	-	-	37
福岡県	17	0.14	184	1.53	-	-	11	0.42	-	-	-	-	2	0.13	-	-	40
佐賀県	12	0.52	42	1.83	-	-	1	0.25	-	-	-	-	5	0.83	-	-	6
長崎県	2	0.05	28	0.64	-	-	7	0.88	-	-	-	-	-	-	-	-	18
熊本県	5	0.10	21	0.44	-	-	31	3.44	-	-	-	-	1	0.07	-	-	69
大分県	2	0.06	8	0.22	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-	-	-	25
宮崎県	6	0.17	52	1.44	-	-	4	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	107
鹿児島県	7	0.13	9	0.16	-	-	7	1.00	-	-	-	-	4	0.33	-	-	20
沖縄県	-	-	9	0.26	-	-	9	0.90	-	-	2	0.29	8	1.14	-	-	2

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年48週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	27	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年48週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第48号 2008年12月12日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。